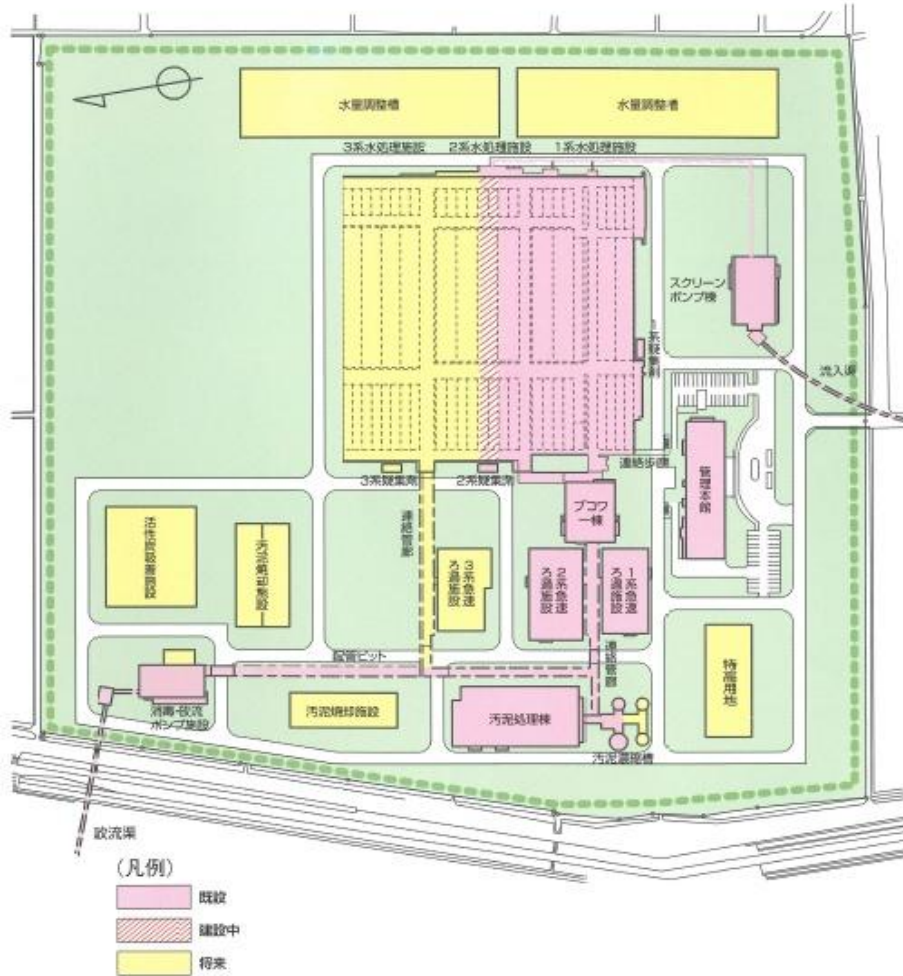


中勢沿岸流域下水道（松阪処理区）

松阪浄化センターの維持管理

- (1) 施 設 配 置 図
- (2) 幹 線 管 渠 状 況 図
- (3) 施 設 計 画 と 現 況
- (4) 設 備 概 要
- (5) 処 理 フ ロ ー
- (6) 水 質 管 理 状 況
- (7) 処 理 水 量
- (8) 電 力 ・ 水 道 ・ 薬 品 ・ 燃 料
- (9) 汚 泥 脱 水 処 理
- (10) 施 設 点 検 業 務 の 概 要
- (11) 水 質 試 験 業 務
- (12) 周 辺 環 境 調 査

(1) 松阪浄化センター施設配置図



計画概要

項目	区分	全体計画	認可計画
処理区域面積(ha)		6,773.8	3,297.8
処理区域内人口(人)		171,070	113,807
処理能力(m <sup>3</sup> /日最大)		93,600	56,100
処理方法		凝集剤添加嫌気-無酸素-好気法+急速ろ過法	
排除方式		分流式	
処理場敷地(ha)		20.95	20.95

関連公共下水道の内訳

市町村名	計画処理面積(ha)	処理区域内人口(人)	計画処理水量(m <sup>3</sup> )
松阪市	5,084.2	148,470	93,532
(旧松阪市)	(3,610.0)	(119,900)	(76,008)
(旧嬉野町)	(944.0)	(16,670)	(9,413)
(旧三雲町)	(530.2)	(11,900)	(8,111)
津市	1,182.2	27,620	14,705
(旧一志町)	(488.3)	(15,020)	(7,817)
(旧白山町)	(693.9)	(12,600)	(6,888)
多気町	404.0	9,320	4,991
合計	6,670.4	185,410	113,228

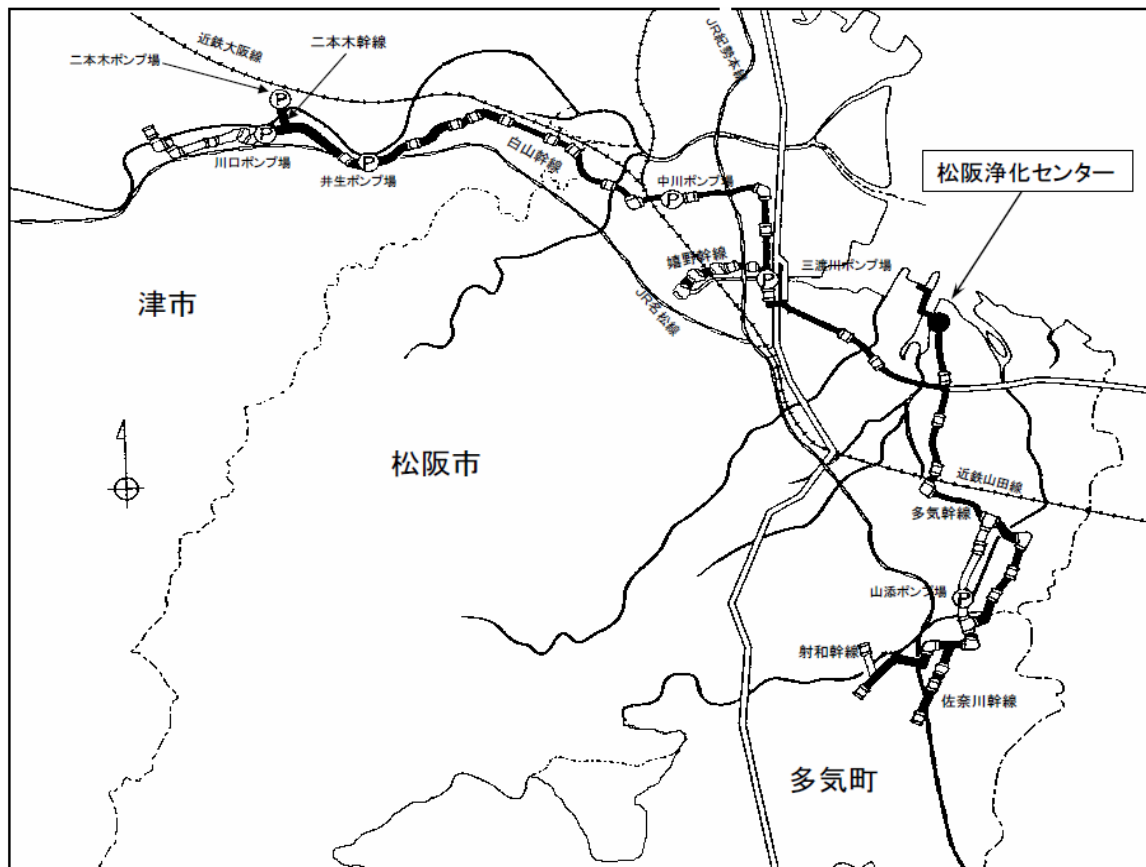
経過の概要

平成 2年 1月 19日	中勢沿岸流域下水道(松阪処理区)都市計画決定
平成 2年10月 9日	同下水道法による事業認可
平成 2年10月 9日	同都市計画法による事業認可
平成 5年 6月 15日	白山幹線管渠工事着手
平成 6年12月 20日	松阪浄化センター工事着手
平成10年 3月 22日	供用開始記念式典及び記念イベント
平成10年 4月 1日	松阪市、嬉野町、三雲町一部供用開始
平成13年 4月 1日	一志町一部供用開始
平成16年 4月 1日	多気町一部供用開始
平成17年 1月 1日	松阪市、嬉野町、三雲町、飯南町、飯高町 合併
平成18年 1月 1日	津市、久居市、河芸町、芸濃町、美里村、安濃町、香良洲町、一志町、白山町、美杉村 合併
平成18年 1月 1日	多気町、勢和村 合併
平成19年 4月 1日	旧白山町(津市)一部供用開始

(2) 松阪処理区幹線管きょ状況図

6幹線	管径150~1,800mm	総延長	54.0km
-----	---------------	-----	--------

(平成22年度 幹線進捗率 96.3%)



(整備延長:累計延長)

幹線名	白山	多気	佐奈川	嬉野	二本木	射和	計
管径(mm)	1,800 ~150	900 ~150	450 ~300	800 ~300	250	200	
延長(Km)	29.5	17.1	3.9	2.2	0.7	0.6	54.0
H10年度	(47.80%) 14.1						(26.10%) 14.1
H11年度	(47.80%) 14.1						(26.10%) 14.1
H12年度	(59.54%) 17.6	(18.22%) 3.1					(38.28%) 20.7
H13年度	(59.54%) 17.6	(30.05%) 5.1					(42.03%) 22.7
H14年度	(64.22%) 18.9	(30.05%) 5.1					(44.59%) 24.1
H15年度	(64.22%) 18.9	(30.05%) 5.1					(44.59%) 24.1
H16年度	(64.22%) 18.9	(77.76%) 13.3	(29.03%) 1.1	(40.41%) 0.9			(63.42%) 34.3
H17年度	(66.05%) 19.5	(77.76%) 13.3	(60.26%) 2.4	(99.54%) 2.2			(69.06%) 37.3
H18年度	(85.40%) 25.2	(80.40%) 13.7	(100.00%) 3.9	(100.00%) 2.2	(100.00%) 0.7		(84.71%) 45.8
H19年度	(87.46%) 25.8	(98.25%) 16.8	(100.00%) 3.9	(100.00%) 2.2	(100.00%) 0.7		(91.48%) 49.4
H20年度	(89.83%) 26.5	(100.00%) 17.1	(100.00%) 3.9	(100.00%) 2.2	(100.00%) 0.7		(93.34%) 50.4
H21年度	(92.54%) 27.3	(100.00%) 17.1	(100.00%) 3.9	(100.00%) 2.2	(100.00%) 0.7		(94.82%) 51.2
H22年度	(95.25%) 28.1	(100.00%) 17.1	(100.00%) 3.9	(100.00%) 2.2	(100.00%) 0.7		(96.30%) 52.0

## (3) 施設計画と現況

名称	形状区分 形状寸法	全体計画	平成22年度現在			
			土木建築	機械電気	摘要	
スクリーン	水路幅2.6m	2水路	2水路	1水路		
主ポンプ	13.9m <sup>3</sup> /min	2台	—	2台		
	27.8m <sup>3</sup> /min	2台	—	2台		
	32.8m <sup>3</sup> /min	2台	—	—		
最初沈殿池	L 24.0m × W 4.5m × H 3.0m	4池	4池	4池		
	L 16.0m × W 5.3m × H 3.0m	12池	8池	6池		
	L 16.0m × W 3.8m × H 3.0m	16池	—	—		
反応槽 (嫌気槽)	L 4.5m × W 9.5m × H 6.0m × N 1	2池	2池	2池		
	L 6.7m × W 11.1m × H 6.0m × N 1	6池	4池	3池		
	L 6.7m × W 8.0m × H 6.0m × N 1	8池	—	—		
反応槽 (無酸素槽)	L 4.5m × W 9.5m × H 6.0m × N 1	2池	2池	2池		
	L 5.7m × W 9.5m × H 6.0m × N 3	2池	2池	2池		
	L 23.0m × W 11.1m × H 6.0m × N 1	6池	4池	3池		
	L 23.0m × W 8.0m × H 6.0m × N 1	8池	—	—		
反応槽 (好気槽)	L 5.7m × W 9.5m × H 6.0m × N 1	2池	2池	2池		
	L 5.9m × W 9.5m × H 6.0m × N 6	2池	2池	2池		
	L 45.1m × W 11.1m × H 6.0m × N 1	6池	4池	3池		
	L 45.1m × W 8.0m × H 6.0m × N 1	8池	—	—		
最終沈殿池	L 42.0m × W 4.5m × H 3.5m	4池	4池	4池		
	L 40.1m × W 5.3m × H 3.5m	12池	8池	6池		
	L 40.1m × W 3.8m × H 3.5m	16池	—	—		
急速ろ過 (ろ過池)	L 8.0m × W 4.3m	4池	4池	4池		
	L 7.5m × W 5.2m	4池	—	—		
	L 7.0m × W 4.0m	8池	—	—		
消毒滅菌池	L 115m × W 2.5m × H 2.5m	2池	1池	1池		
次亜塩素酸ソーダ 貯留槽	4m <sup>3</sup>	1槽	—	1槽		
	8m <sup>3</sup>	2槽	—	1槽		
放流ポンプ	13.0m <sup>3</sup> /min	2台	—	2台		
	28.7m <sup>3</sup> /min	2台	—	2台		
	32.8m <sup>3</sup> /min	2台	—	—		
送風機	35m <sup>3</sup> /min	4台	—	2台		
	70m <sup>3</sup> /min	10台	—	2台		
汚泥重力濃縮タンク	φ 6.2m H 3.0m	1槽	1槽	1槽		
	φ 9.4m H 3.0m	1槽	1槽	1槽		
	φ 7.6m H 3.0m	2槽	—	—		
脱水機	造粒濃縮機付ベルトプレス ろ布幅 2m ろ過速度 150kgDS/m/h	5台	—	4台		
自家発電機	1,250KVA	1台	—	1台		
	2,000KVA	1台	—	—		
幹線管渠	φ 150mm～φ 1,800mm	54,000m	49,400m	—		
放流渠	φ 1,350mm	1,200m	1,200m	—		
中継ポンプ場	三渡川ポンプ場	破碎機	2台	—	1台	
		4.6m <sup>3</sup> /min	2台	—	2台	
		11.5m <sup>3</sup> /min	3台	—	1台	
	中川ポンプ場	破碎機	2台	—	1台	
		8.0m <sup>3</sup> /min	3台	—	2台	
		5.0m <sup>3</sup> /min	1台	—	—	
	井生ポンプ場	1.9m <sup>3</sup> /min	2台	—	2台	
		3.8m <sup>3</sup> /min	2台	—	—	
	二本木ポンプ場	破碎機	2台	—	1台	
		1.1m <sup>3</sup> /min	4台	—	2台	
	川口ポンプ場	破碎機	1台	—	1台	
		2.0m <sup>3</sup> /min	3台	—	2台	
	山添ポンプ場	破碎機	2台	—	1台	
		2.4m <sup>3</sup> /min	4台	—	2台	

## (4) 設備概要

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量(kw)	台数	
ス ク リ ー ン ポ ンプ 棟	ス ク リ ー ン	流入ゲート	外ねじ式鑄鉄製電動ゲート 幅1,500mm×高1,500mm	7.5	2	
		粗目スクリーン	鋼製バースクリーン 目幅100mm×取付角度60°	—	2	
		揚砂ポンプ	水中サイドポンプ φ 100mm 0.5m <sup>3</sup> /min	7.5	1	
		自動除塵機	間欠式前面かき揚げ形 目幅20mm×取付角度70°	3.7	1	
		流出ゲート	外ねじ式鑄鉄製手動ゲート 幅1,500mm×高1,500mm	—	2	
		連通ゲート	外ねじ式鑄鉄製手動ゲート 幅1,000mm×高1,000mm	—	1	
		リ	No.1し渣搬出機	トラフ形ベルトコンベヤ ベルト幅600mm	1.5	1
			No.2し渣搬出機	トラフ形傾斜ベルトコンベヤ ベルト幅600mm	1.5	1
			沈砂分離器	サイクロン形 約0.5m <sup>3</sup> /min	—	1
		ー	し渣洗浄機	機械攪拌式	4.85	1
			し渣脱水機	スクリュウ式	3.7	1
			No.3し渣搬出機	急傾斜形ベルトコンベヤ ベルト幅750mm	3.7	1
		ン	し渣ホツパ	電動カットゲート式ホツパ 10m <sup>3</sup>	1.5	1
	ス		No.1ポンプ井攪拌機	水中ミキサー 約φ 370mm	2.5	1
			No.2ポンプ井攪拌機	水中ミキサー 約φ 220mm	2.4	1
	ク		スクリーンかす吊上機	電動ホイスト 1.0t 12m	1.56	1
			沈砂コンテナ吊上機	電動ホイスト 1.0t 24m	2.66	1
	リ		機器搬出入機	ギヤードトロリ付チェンブロック 2.8t	—	1
			スカムコンテナ吊上機	電動ホイスト 1.0t	2.66	1
	ー		床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ φ 65mm 0.2m <sup>3</sup> /min	1.5	2
			No.1貯留槽流出弁	電動外ねじ仕切弁 φ 100mm	0.2	1
			No.2貯留槽流出弁	電動外ねじ仕切弁 φ 150mm	0.4	1
	ン	脱臭ファン	片吸込ターボファン 35m <sup>3</sup> /min	3.7	1	
		活性炭吸着塔	堅形カートリッジ式 35m <sup>3</sup> /min	—	1	
		エリミネーター	慣性衝突式 35m <sup>3</sup> /min	—	1	
	ポ ンプ 棟	ポ ンプ	ポンプ井排水ポンプ	フライホイール付水中汚水ポンプ φ 200 3.1m <sup>3</sup> /min*26m	30	2
			ポンプ井排水ポンプ吐出弁	電動偏心構造弁 φ 200	0.4	2
			No.1主ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ φ 350mm 13.9m <sup>3</sup> /min	—	2
			No.1主ポンプ用電動機	カゴ形誘導電動機	110	2
			No.1主ポンプ吸込弁	外ねじ式仕切弁 φ 350mm	—	2
			No.1主ポンプ逆止弁	鑄鉄製スイング式逆止弁 φ 350mm	—	2
			No.1主ポンプ吐出弁(1)	電動仕切弁 φ 350mm	0.75	2
			No.1主ポンプ吐出弁(2)	外ねじ式仕切弁 φ 350mm	—	2
			No.2主ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ φ 500mm 27.8m <sup>3</sup> /min	—	2
			No.2主ポンプ用電動機	カゴ形誘導電動機	220	2
		ー	No.2主ポンプ吸込弁	外ねじ式仕切弁 φ 500mm	—	2
			No.2主ポンプ逆止弁	鑄鉄製スイング式逆止弁 φ 500mm	—	2
			No.2主ポンプ吐出弁(1)	電動仕切弁 φ 500mm	0.75	2
			No.2主ポンプ吐出弁(2)	外ねじ式仕切弁 φ 500mm	—	2
			No.3主ポンプ吸込弁	外ねじ式仕切弁 φ 700mm	—	2
			1~3系保守弁	外ねじ式仕切弁 φ 500mm	—	2
			切替弁	外ねじ式仕切弁 φ 1000mm	—	1
			給水ユニット	圧力式自動給水ユニット 0.08m <sup>3</sup> /min	3.7	1
			貯留タンク	FRP製耐震形 2.0m <sup>3</sup>	—	1
			床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ φ 65mm 0.2m <sup>3</sup> /min	3.7	2
	備	天井クレーン設備	手動 5.0t	—	1	
		主ポンプ設備機器搬入機	手動式チェーンブロック 5.0t	—	1	
ポンプ井排水ポンプ吊上機		手動式チェーンブロック 1.5t	—	1		
ポンプ井排水ポンプ仕切弁		手動外ねじ式仕切弁 φ 200mm	—	1		

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量(kw)	台数			
水	水	1系着水井可動堰	外ねじ式鑄鉄製手動ゲートW 1500*H 500	—	1			
		2系着水井可動堰	外ねじ式鑄鉄製手動ゲートW 1700*H 500	—	1			
		初沈流入ゲート	外ねじ式鑄鉄製手動ゲートW 500*H 500	—	4			
		初沈流入可動堰	外ねじ式鑄鉄製手動ゲートW 600*H 850	—	4			
		No.1初沈流入水路可動堰	外ねじ式鑄鉄製手動ゲートW 800*H 400	—	1			
		No.2初沈流入水路可動堰	外ねじ式鑄鉄製手動ゲートW 1000*H 400	—	1			
		2系初沈流入可動堰	外ねじ式鑄鉄製手動ゲートW 600*H 850	—	1			
		初沈汚泥掻寄機	チェーンフライト式	0.75	4			
		初沈汚泥掻寄機	チェーンフライト式	0.4	6			
		初沈汚泥引抜弁	電動遍心構造弁φ 200	0.2	10			
		初沈汚泥吐出弁	電動遍心構造弁φ 100	0.2	2			
		初沈汚泥ポンプ	横軸無閉塞形φ 100*1m3/mim*15m	7.5	2			
		初沈スカムスキマー	電動式パイプスキマーφ 300*L4500	0.2	10			
		初沈スカム移送ポンプ	横軸無閉塞形φ 100*1m3/mim*9m	5.5	4			
		スカムスクリーン	回転ドラム形処理量1.0m3/min	0.75	1			
		バイパスゲート	外ねじ式鑄鉄製手動ゲートW 1200*H 500	—	1			
		バイパスゲート	外ねじ式鑄鉄製手動ゲートW 1200*H 700	—	1			
		処	処	バイパススクリーン	手掻き式W1600*H1400 目幅20	—	1	
	バイパススクリーン			手掻き式W1550*H1300 目幅20	—	1		
	初沈流出ゲート			外ねじ式鑄鉄製手動ゲートW 700*H 700	—	1		
	初沈流出ゲート			外ねじ式鑄鉄製手動ゲートW 1000*H 500	—	1		
	No.2初沈流出ゲート			外ねじ式鑄鉄製手動ゲートW 900*H 500	—	1		
	バイパス流出ゲート			外ねじ式鑄鉄製手動ゲートW 1000*H 700	—	1		
	バイパス流出ゲート			外ねじ式鑄鉄製手動ゲートW 900*H 900	—	1		
	No.2バイパス流出ゲート			外ねじ式鑄鉄製手動ゲートW 1200*H 700	—	1		
	理			理	初沈床排水ポンプ	水中汚水ポンプφ 65*0.3m3/mim*9.5m	1.5	4
					生物反応槽流入ゲート	外ねじ式鑄鉄製手動ゲートW 400*H 300	—	1
		初期用生物反応槽流入可動堰	外ねじ式鑄鉄製角形可動堰W 800*H 300 揚程300		—	1		
		2系生物反応槽流入可動堰	外ねじ式鑄鉄製角形可動堰W 1200*H 400		—	1		
		初期用生物反応槽仕切ゲート	外ねじ式鑄鉄製手動ゲートW 1200*H 1200		—	1		
		返送汚泥流入可動堰	外ねじ式鑄鉄製角形可動堰W 400*H 400 揚程400		—	5		
		生物反応流入可動堰	外ねじ式鑄鉄製角形可動堰W 1200*H 300 揚程300		—	2		
		生物反応流入可動堰	外ねじ式鑄鉄製角形可動堰W 1200*H 400 揚程400		—	2		
		設	備		嫌気槽攪拌機	水中攪拌機 設置水深6m	2.2	1
					嫌気槽攪拌機	水中攪拌機 設置水深6m	3.7	1
					嫌気槽攪拌機	水中攪拌機 設置水深6m	5.5	3
					無酸素槽攪拌機	水中攪拌機 設置水深6m	2.2	4
	無酸素槽攪拌機			水中攪拌機 設置水深6m	3.7	4		
	無酸素槽攪拌機			水中攪拌機 設置水深6m	5.5	6		
	無酸素槽攪拌機			水中攪拌機 設置水深6m	11	2		
	好気槽攪拌機			水中攪拌機 設置水深6m	2.2	1		
	好気槽攪拌機			水中攪拌機 設置水深6m	5.5	6		
散気装置 A	硝化対応型全面曝気式 設置水深6m 38.2mg/L・時			—	1			
散気装置 B	硝化対応型全面曝気式 設置水深6m 37.9mg/L・時			—	1			
散気装置 C	超微細泡旋回流式 設置水深5m 46.5mg/L・時			—	1			
2系散気装置	片旋回曝気式 設置水深6m 25.5m <sup>3</sup> /min			—	1			
水中攪拌機吊上装置	ギヤードトオリ付チェーンブロック 1t H5m			—	1			
水中攪拌機吊上装置	ギヤードトオリ付チェーンブロック 2t H5m	—	2					
循環水ポンプ	吸込スクリー付汚泥ポンプ込φ 300*7.9m3/mim*3.5m	11	3					
循環水ポンプ	吸込スクリー付汚泥ポンプ込φ 300*9.5m3/mim*5.0m	18.5	5					

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量(kw)	台数
水	水	循環水吐出弁	電動偏心構造弁φ 250	0.2	4
		空気流量調整弁	電油操作式バタフライ弁φ 300	0.4	4
		空気流量調整弁	電油操作式バタフライ弁φ 200	0.4	1
		生物反応槽管廊床排水ポンプ	水中汚水ポンプφ 65*0.3m3/mim*9.5m	1.5	4
		生物反応槽管廊床排水ポンプ	水中汚水ポンプφ 65*0.3m3/mim*12m	2.2	4
		PAC貯留槽	FRP製タンク φ 2400mm*4.12m 貯留量15m3	—	2
		PAC注入ポンプ	可変式定量ポンプ(ダイヤフラム式)φ 15*0.36ml/min	0.2	7
		終沈流入ゲート	外ねじ式鋳鉄製手動ゲートW 600*H 600 揚程600	—	10
		終沈汚泥掻寄機	チェーンフライト式	0.75	4
		終沈汚泥掻寄機	チェーンフライト式	0.4	6
		終沈汚泥引抜弁	電動偏心構造弁φ 200	0.2	10
		返送汚泥ポンプ	吸込スクリュウ付汚泥ポンプ込φ 200*2.7m3/mim*4.5m	5.5	2
		返送汚泥ポンプ	吸込スクリュウ付汚泥ポンプ込φ 300*6.0m3/mim*5.0m	11	6
		余剰汚泥ポンプ	横軸無閉塞形φ 100*0.9m3/mim*9m	3.7	2
		余剰汚泥ポンプ	吸込スクリュウ付汚泥ポンプ φ 100*1m3/mim*6.5m	3.7	2
		返送汚泥吐出弁	電動偏心構造弁φ 150	0.2	6
		返送汚泥吐出弁	電動偏心構造弁φ 250	0.2	1
		余剰汚泥吐出弁	電動偏心構造弁φ 100	0.2	2
		余剰汚泥吐出弁	電動偏心構造弁φ 150	0.2	4
		余剰汚泥連通弁	電動偏心構造弁φ 350	0.4	1
		終沈スカムスキマー	電動式パイプスキマーφ 300*L4500	0.2	8
		終沈スカムスキマー	電動式パイプスキマーφ 300*L4800	0.2	2
		終沈スカム移送ポンプ	横軸無閉塞形φ 100*1m3/mim*11m	5.5	4
		終沈管廊床排水ポンプ	水中汚水ポンプφ 65*0.3m3/mim*11m	2.2	4
		終沈管廊床排水ポンプ	水中汚水ポンプφ 65*0.3m3/mim*10m	1.5	2
		終沈管廊床排水ポンプ	水中汚水ポンプφ 65*0.6m3/mim*10m	2.2	2
初沈・反応槽搬入チェーンブロック	手動式 2t H10m	—	3		
終沈搬入チェーンブロック	手動式 2t H 9m	—	2		
ブロワー棟	ブロワー設備	鋼板製多段ブロワー	φ 300*φ 250*74m3/min*6900mmAq	130	2
		鋼板製多段ブロワー	φ 200*φ 150*35m3/min*6900mmAq	75	2
		送風機用電動吐出弁	電動バタフライ弁φ 250	0.2	2
		送風機用電動吐出弁	電動バタフライ弁φ 150	0.2	2
		自動巻取型乾式空気濾過機	280m3/min	0.2	1
		湿式空気濾過機	回転油膜式280m3/min	0.2	1
		天井走行クレーン	チェーンブロック 5t	—	1
		手動切替弁	600A	—	1
	脱臭設備その他	脱臭塔	活性炭吸着90m3/min 酸性ガス、塩基性ガス、中性ガス	—	2
		脱臭塔	活性炭吸着140m3/min アルカリ性ガス、酸性ガス、中性ガス	—	1
		脱臭ファン	片吸込ターボファン90m3/min 300mmAq	11	2
		脱臭ファン	片吸込ターボファン70m3/min 2.45kPa	5.5	1
		高架水槽	FRPサンド板一体型 2m3	—	1
		高架水槽	FRPサンド板組立型10.5m3	—	1
		管廊床排水ポンプ	据置式水中モーターポンプ φ 65*0.3m3/mim*8m	1.5	2
		散水給水ユニット	圧力一定式自動給水ユニット 0.8m3/min	3.7*2	1
		散水給水タンク	FRP製 単体型 12m3	—	1

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量(kw)	台数	
急 速 ろ 過 施 設	急 速 ろ 過 設 備	原水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ 400*φ 350*12.9m <sup>3</sup> /min*5.1m	22	2	
		原水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ 200*φ 200*6.3m <sup>3</sup> /min*5.7m	11	2	
		原水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ 150*φ 150*3.2m <sup>3</sup> /min*5.3m	5.5	2	
		逆洗ポンプ	両吸込渦巻ポンプ φ 600*φ 500*33m <sup>3</sup> /min*5.9m	55	2	
		原水流入ゲート	電動外ねじ式鑄鉄ゲート W600*H600	0.75	4	
		逆洗排水ゲート	電動外ねじ式鑄鉄ゲート W600*H600	0.75	4	
		原水槽バイパスゲート	外ねじ式鑄鉄ゲート W800*H800	—	1	
		原水流入可動堰	外ねじ式鑄鉄可動堰 W500*H500	—	4	
		処理水バイパス可動堰	外ねじ式鑄鉄可動堰 W1000*H1000	—	1	
		集水装置	水空気同時逆洗型硬質ポリエチレン製多孔ブロック	—	4	
		原水吐出弁	電動外ねじ式仕切弁 φ 350	0.75	2	
		原水吐出弁	電動外ねじ式仕切弁 φ 200	0.4	2	
		原水吐出弁	電動外ねじ式仕切弁 φ 150	0.2	2	
		逆洗吐出弁	電動外ねじ式仕切弁 φ 500	1.5	4	
		逆洗流入弁	電動バタフライ弁 φ 700	0.2	4	
		処理水弁	電動バタフライ弁 φ 350	0.2	4	
		空気定量流量弁	オリフイス式250A	—	1	
		空気洗浄弁	電動バタフライ弁 φ 250	0.2	4	
		空洗風量計	差圧式ダイヤフラム形 φ 250 41.3m <sup>3</sup> /min	—	1	
		空洗圧力計	ブルドン管式φ 100 0~0.1MPa	—	1	
		空洗減圧弁	ダイヤフラム式(微少減圧用)φ 150 6700→4800mmAq	—	1	
		天井クレーン	手動式天井クレーン 定格荷重2.8t揚程4m	—	1	
		チェーンブロック	手動式吊上荷重2.8t揚程9.8m	—	1	
	用水設備等	消泡水給水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ 100*1.04m <sup>3</sup> /min*27.7m	11	3	
		汚泥処理棟給水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ 100*2.14m <sup>3</sup> /min*8.4m	5.5	2	
		シール水給水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ 100*0.73m <sup>3</sup> /min*24.8m	7.5	2	
		消泡水給水吐出弁	電動外ねじ式仕切弁 φ 75	0.2	3	
		シール給水吐出弁	電動外ねじ式仕切弁 φ 75	0.2	2	
		汚泥処理棟給水吐出弁	電動外ねじ式仕切弁 φ 100	0.2	2	
		急速ろ過施設床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ φ 80*0.50m <sup>3</sup> /min*7m	2.2	2	
	設 防 備 藻	薬注ユニット	電磁式ダイヤフラムポンプ式ユニット型 φ 15*0.37l/min	0.16	1	
		次亜塩素酸ソーダタンク	FRP製縦型定置式 φ 1500*H2000 2.7m <sup>3</sup> *2.7m <sup>3</sup>	—	2	
	消 毒 ・ 放 流 ポ ン プ 施 設	消 毒 ・ 放 流 ポ ン プ 施 設	次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ	可変式定量ポンプ(ダイヤフラム式) φ 15*0.4L/min	0.4	2
			次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ	可変式定量ポンプ(ダイヤフラム式) φ 15*0.8L/min	0.4	1
			次亜塩素酸ソーダタンク	FRP+PVC製縦型定置式4.0m <sup>3</sup>	—	1
			次亜塩素酸ソーダタンク	FRP+PVC製縦型定置式8.0m <sup>3</sup>	—	1
			放流ポンプ井流入蝶型弁	手動蝶型弁 φ 1200mm	—	2
			消毒槽バイパスゲート	角形外ネジ式制水扉 W1000*H1000	—	1
			放流ポンプ	縦軸斜流ポンプ φ 350*13.0m <sup>3</sup> /min*6.3m	—	2
			同上電動機	縦軸全閉外扇カゴ形 420V Y-Δ	22	2
			放流ポンプ	縦軸斜流ポンプ φ 500*28.7m <sup>3</sup> /min*6.6m	—	2
			同上電動機	縦軸全閉外扇カゴ形 420V Y-Δ	55	2
		ポンプ井流入ゲート	角形外ネジ式制水扉 W1500*H1500	—	2	
		天井走行クレーン	手動クラブ形 7.5t*6m*7.7m*3.2t	—	1	
		そ の 他	高架水槽	FRP製 1500*1500*1500 3.0m <sup>3</sup>	—	1
			散水給水ポンプ	水中タービンポンプ φ 50*0.20m <sup>3</sup> /min*22m	2.2	2
			潤滑水ポンプ	水中タービンポンプ φ 50*0.20m <sup>3</sup> /min*20m	1.5	2
配管ピット床排水ポンプ			水中汚水ポンプ φ 65*0.3m <sup>3</sup> /min*7m	1.5	6	
再利用水消毒ポンプ(東部)			電磁定量型 65ml/min	0.02*2	1	
再利用水消毒ポンプ(南部)	電磁定量型 38ml/min		0.02*2	1		
再利用水電磁流量計	2線電磁流量計 φ 65mm		—	1		



施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量(kw)	台数
濃縮汚泥施設	濃縮汚泥設備	汚泥スクリーン	回転ドラム式 φ 800 処理量4.0m <sup>3</sup> /min	0.75	1
		汚泥し渣脱水機	処理量3.5m <sup>3</sup> /h スクリュープレス式	3.7	1
		汚泥分配槽稼働堰	外ねじ式鑄鉄可動堰W300*H200	—	2
		汚泥し渣脱水機油圧ユニット		0.4	1
		濃縮汚泥掻寄機	中央駆動懸垂型 6.2m×深さ3m	0.4	1
		濃縮汚泥掻寄機	中央駆動懸垂型 9.4m×深さ3m	0.4	1
		濃縮汚泥引抜弁	電動偏心構造弁 φ 150	0.2	2
		濃縮汚泥ポンプ	無閉塞形ポンプ φ 80*0.8m <sup>3</sup> /min	5.5	2
		汚泥し渣吊上機	電動式 チェーンブロック 定格荷重2.8t 揚程6m	2.35	1
		汚泥濃縮槽床排水ポンプ	ボルテックス型水中ポンプφ 80*0.4m <sup>3</sup> /min 8.0m	3.7	2
		機器搬入用吊上機	ギヤードトオリ付チェーンブロック 定格荷重3.0t 揚程9m	—	1
汚泥処理棟	汚泥設備	汚泥貯留槽攪拌機	立形ミキサー2段パドル式 槽形状7000*8000*4000	11	2
		汚泥貯留槽攪拌機	立形ミキサー2段パドル式 槽形状6500*15000*4000	11.00*2	2
		No.1~3貯留汚泥ポンプ	1軸ねじ式 0.23~0.69m <sup>3</sup> /min	7.5	3
		No.4貯留汚泥ポンプ	1軸ねじ式 0.20~0.60m <sup>3</sup> /min VVVF	7.5	1
		No.1~4汚泥濃縮調質装置	造粒濃縮調質ユニット 0.31t-DS/h	11.2	4
		No.1~3汚泥脱水機	高効率型ベルトプレス ろ布幅2m 150kgDS/m・h	2.3	3
		No.4汚泥脱水機	高効率型ベルトプレス ろ布幅2m 150kgDS/m・h	4.45	1
		No.1ケーキ搬送コンベヤ	3ローラ式20度トラフ型 ベルト幅600mm 機長30m	1.5	1
		No.2ケーキ搬送コンベヤ	3ローラ式20度トラフ型 ベルト幅600mm 機長13m	1.5	1
		No.3ケーキ搬送コンベヤ	3ローラ式20度トラフ型 ベルト幅600mm 機長13.5m	1.5	1
		ケーキ貯留ホッパー	角型電動カットゲート式 容量12m <sup>3</sup>	2.2	3
		空気圧縮機	往復型2段空冷給油式	11	4
		No.1空気除湿機	冷凍式除湿機	0.25	1
		No.2空気除湿機	冷凍式除湿機	0.5	1
		助剤注入ポンプ	1軸ねじ式 0.35~1.35m <sup>3</sup> /min VVVF	0.4	4
		助剤貯留タンク	FRP製円筒縦型定置式 有効容量10m <sup>3</sup>	—	1
		ポリマー溶解タンク	鋼板製円筒縦型定置式 φ 1900*3200	—	2
		ポリマー溶解タンク攪拌機	堅型2段プロペラ式	3.7	2
		ポリマー定量供給機	3.2L/min 可変連続定量供給機	0.4	2
		ポリマー注入ポンプ	1軸ねじ式 6.3~18.9L/min VVVF	0.75	4
		ポリマー搬入用吊上機	荷重1.0t	1.6	1
		ろ布洗浄ポンプ	横軸多段渦巻ポンプφ 80*0.5m <sup>3</sup> /min VVVF	11	4
		給水ポンプ	圧力タンク式 0.57m <sup>3</sup> /min	5.5*2	1
		床排水ポンプ	ボルテックス型水中ポンプφ 80	5.5	4
		床排水ポンプ	ボルテックス型水中ポンプφ 80	2.2	4
		洗浄用給水ポンプ	圧力タンク式	2.2*2	1
		汚泥棟散水ストレーナ	自動洗浄ストレーナ φ 100mm 0.8m <sup>3</sup> /min	0.1	1
機器吊上機	1t用 電動トオリ付きチェーンブロック	1.8	1		
機器吊上機	2t用 手動式トオリチェーンブロック	—	2		
機器吊上機	2.8t用 電動式チェーンブロック	3.0+0.4	1		
天井クレーン	2t用 ローヘッドサドル型 ギヤードトオリチェーンブロック	—	1		

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量(kw)	台数
汚泥処理棟	脱臭設備その他	No.1脱臭用生物充填塔	処理風量100m <sup>3</sup> /min	—	1
		No.1生物充填塔排水ポンプ	φ 80*0.8m <sup>3</sup> /min 横軸形片吸込渦巻ポンプ	5.5	1
		No.1,2汚泥棟散水ポンプ	φ 80*0.8m <sup>3</sup> /min ボルテック形水中ポンプ	11	2
		No.1活性炭吸着塔	処理風量100m <sup>3</sup> /min カートリッジ式酸性、中性ガス用	—	1
		No.1脱臭ファン	100m <sup>3</sup> /min 横軸片吸込ターボファン	11	1
		No.1ミストセパレータ	慣性衝突式処理風量100m <sup>3</sup> /min	—	1
		No.1脱臭設備吊上機	荷重3t	—	1
		No.2脱臭用生物充填塔	処理風量65m <sup>3</sup> /min	—	1
		No.2生物充填塔排水ポンプ	φ 65*0.4m <sup>3</sup> /min	1.5	1
		No.3,4汚泥棟散水ポンプ	横軸渦巻ポンプ φ 65*0.36m <sup>3</sup> /min	3.7	2
		No.2活性炭吸着塔	処理風量110m <sup>3</sup> /min カートリッジ式(アルカリ、酸性、中性)	—	1
		No.2-1脱臭ファン	横軸片吸込ターボファン 65m <sup>3</sup> /min	5.5	1
		No.2-2脱臭ファン	横軸片吸込ターボファン 45m <sup>3</sup> /min	3.7	1
		No.2-1ミストセパレータ	慣性衝突式処理風量65m <sup>3</sup> /min	—	1
		No.2-2ミストセパレータ	慣性衝突式処理風量45m <sup>3</sup> /min	—	1
		脱臭用入水タンク	角型FRP製耐震形 4m <sup>3</sup>	—	1
管理棟ほか	その他	受変電設備	高圧B 6kV受電	—	1式
		監視制御設備(水処理)	監視・操作・記録	—	1式
		監視制御設備(汚泥処理)	監視・操作・記録	—	1式
		遠方監視制御設備(場外)	監視・操作・記録 専用線15回線	—	1式
		自家発電設備	6600V 2000KVA ガスタービンエンジン	—	1式

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量(kw)	台数
三渡川ポンプ場	ポンプ設備	流入ゲート	電動外ネジ式角形鋳鉄ゲート W600*H900	1.5	2
		揚砂ポンプ	サンドポンプφ 80*0.45m <sup>3</sup> /min*16m	5.5	1
		粗目スクリーン	手掻式バースクリーン W1400*H2490 目幅50	—	1
		し渣コンテナ	SUS製角形容量0.3m <sup>3</sup>	—	1
		し渣破碎机	ドラム回転式 処理水量18.23m <sup>3</sup> /min	1.5	1
		流出ゲート	手動外ネジ式角形鋳鉄ゲート W600*H900	—	1
		汚水ポンプ	水中スクリュウ式渦巻ポンプφ 200*4.6m <sup>3</sup> /min*24m	37	2
		汚水ポンプ	水中スクリュウ式渦巻斜流ポンプφ 300*11.5m <sup>3</sup> /min*24m	75	1
		吐出電動弁	ネジ式電動仕切弁φ 200	0.75	2
		吐出電動弁	ネジ式電動仕切弁φ 300	1.5	1
		汚水流量計	電磁流量計φ 350	—	1
		汚水ポンプ吊上装置	ギヤードトオリ付チェーンブロック 定格荷重2.0t 揚程6m	—	1
		ポンプ井攪拌機	昇降式プロペラ形水中ミキサー攪拌容量80m <sup>3</sup>	2.4	1
		ポンプ井連絡ゲート	手動外ネジ式角形鋳鉄ゲート W700*H700	—	1
		揚砂ポンプ吊り上げ装置	ギヤードトオリ付チェーンブロック 定格荷重0.5t 揚程6.0m	—	1
		機器搬出入装置	ローヘッド形電動ホイスト 荷重2t 揚程12m	4.25	1
	脱臭設備	脱臭ファン	FRP製片吸込ターボファン 21m <sup>3</sup> /min	2.2	1
		活性炭吸着塔	処理風量21m <sup>3</sup> /min カートリッジ式酸性、塩基性、中性ガス用	—	1
		ミストセパレーター	慣性衝突式処理風量21m <sup>3</sup> /min	—	1
	その他	受変電設備	高圧A 6kV受電	—	1式
		監視制御設備	監視・操作・記録	—	1式
遠方監視制御設備		NTT専用回線 3.4kHz帯域	—	1式	
自家発電設備		6600V 500KVA ガスタービンエンジン	—	1式	

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量(kw)	台数
中川ポンプ場	ポンプ設備	流入ゲート	電動外ネジ式角形鋳鉄ゲート W600*H900	1.5	2
		揚砂ポンプ	サンドポンプφ 80*0.5m <sup>3</sup> /min*15m	5.5	1
		粗目スクリーン	鋼製バースクリーン W1200*H2700 目幅40	—	2
		し渣コンテナ	SUS製角形容量0.5m <sup>3</sup>	—	1
		コンテナ吊上装置	ギヤードトオリ付チェーンブロック 定格荷重0.5t 揚程6m	—	1
		し渣破碎机	ドラム回転式 処理水量3630~23200m <sup>3</sup> /日	1.5	2
		流出ゲート	手動外ネジ式角形鋳鉄ゲート W1200*H900	—	2
		主ポンプ	水中渦巻ポンプφ 250*8.0m <sup>3</sup> /min*6.5m	15	2
		主ポンプ	水中渦巻ポンプφ 200*5.0m <sup>3</sup> /min*6.0m	7.5	1
		主ポンプ吐出弁	電動偏芯構造弁φ 250	0.2	2
		主ポンプ吐出弁	電動偏芯構造弁φ 200	0.2	1
		主ポンプ吊上装置	ギヤードトオリ付チェーンブロック 定格荷重3.2t 揚程8.5m	—	1
		ポンプ井攪拌機	水中ミキサーφ 220	2.4	1
		ポンプ井攪拌機	水中ミキサーφ 254	1.5	1
		ポンプ井攪拌機吊上装置	ギヤードトオリ付チェーンブロック 定格荷重0.5t 揚程8.5m	—	1
		ポンプ井連絡ゲート	手動外ネジ式角形鋳鉄ゲート W800*H800	—	1
		揚砂ポンプ吊上装置	ギヤードトオリ付チェーンブロック 定格荷重0.5t 揚程8.5m	—	1
	搬出入用吊上装置	電動ギヤードトオリ付チェーンブロック 定格荷重1.0t 揚程14m	1.8	1	
	給水ユニット	受水槽付自動給水装置 吐出量0.05m <sup>3</sup> /min	0.75	1	
	脱臭設備	脱臭ファン	FRP製ターボファン 16m <sup>3</sup> /min	1.5	1
		活性炭吸着塔	処理風量16m <sup>3</sup> /min 立型カートリッジ式酸性、塩基性、中性ガス用	—	1
		活性炭吊上装置	ギヤードトオリ付チェーンブロック 定格荷重1.0t 揚程4.5m	—	1
		エリミネータ等	慣性衝突式 処理風量16m <sup>3</sup> /min	—	1
	その他	受変電設備	高圧A 6kV受電	—	1式
		監視制御設備	監視・操作・記録	—	1式
		遠方監視制御設備	NTT専用回線 3.4kHz帯域	—	1式
自家発電設備		210V 125KVA ディーゼルエンジン	—	1式	

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量(kw)	台数
二本木ポンプ場	ポンプ設備	No.1流入ゲート	電動式鋳鉄製角型ゲート W500*H500	0.4	1
		No.2流入ゲート	手動式鋳鉄製丸型ゲート φ 500	—	1
		破碎機	2軸作動式 通過水量 4.44m <sup>3</sup> /min	2.2+0.4	1
		手掻スクリーン	バーススクリーン W500*H600 目幅100mm 取付角度60°	—	1
		粗目スクリーン	バーススクリーン W500*H600 目幅40mm 取付角度60°	—	1
		流出ゲート	手動式鋳鉄製角型ゲート W500*H500	—	2
		主ポンプ	吸込スクリー式渦巻ポンプ フライホイール付φ 100*1.1m <sup>3</sup> /min*12m	5.5	2
		主ポンプ逆止弁	スイング式逆止弁 φ 100 無送水接点付	—	2
		連通ゲート	手動式鋳鉄製角型ゲート W400*H400	—	1
		ポンプ井攪拌機	水中ミキサー φ 200	1.5	1
		主ポンプ吊上装置	ギヤードトオリ付手動チェーンブロック 定格荷重1.0t 揚程4m	—	1
		機器搬入揚吊上装置	手動トオリ付電動チェーンブロック 定格荷重0.5t 揚程8m	1	1
		脱臭設備	脱臭ファン	FRP製片吸込ターボファン 10m <sup>3</sup> /min*1960pa	1.5
	活性炭吸着塔		立型カートリッジ式 10m <sup>3</sup> /min	—	1
	脱臭装置用吊上装置		手動トオリ付手動チェーンブロック 定格荷重0.5t 揚程4m	—	1
	ミストセパレータ		慣性衝突式 処理風量10m <sup>3</sup> /min	—	1
	その他	受変電設備	低圧 200V受電	—	1式
		監視制御設備	監視・操作・記録	—	1式
		遠方監視制御設備	NTT専用回線 3.4kHz帯域	—	1式
		自家発電設備	210V 65KVA ディーゼルエンジン	—	1式

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量(kw)	台数
井生ポンプ場	ポンプ設備	主水路流入ゲート	電動式鋳鉄製角型ゲート W600*H600	0.75	1
		バイパスゲート	手動式鋳鉄製角型ゲート W600*H600	—	1
		自動除塵機	裏掻式連動 W800*H5000*目幅20	0.04	1
		し渣脱水機	2軸対向スクリー式	0.75	1
		ポンプ井連絡ゲート	手動式鋳鉄製角型ゲート W600*H600	—	1
		No.1主ポンプ(小)	吸込スクリー式水中ポンプ φ 150*1.9m <sup>3</sup> /min*11m	7.5	2
		ポンプ吊上装置	ギヤードトオリ付手動チェーンブロック 定格荷重2.0t	—	1
		し渣コンテナ吊上装置	電動トオリ付電動チェーンブロック 定格荷重2.0t	1.8+0.4	1
		し渣コンテナ積込クレーン	電動ジブクレーン ウォール形 定格荷重1.0t スパン約3m	1.7+0.4	1
		給水ユニット	0.5m <sup>3</sup> FRP製受水槽付 φ 25*10L/min*25m	0.25	1
	脱臭設備	脱臭ファン	FRP製片吸込ターボファン 20m <sup>3</sup> /min*1960pa	2.2	1
		活性炭吸着塔	立型乾式吸着棟 20m <sup>3</sup> /min	—	1
		活性炭吊上装置	ギヤードトオリ付チェーンブロック 定格荷重1.0t 揚程4.5m	—	1
		ミストセパレータ	慣性衝突式 処理風量20m <sup>3</sup> /min	—	1
	その他	受変電設備	低圧 200V受電	—	1式
		監視制御設備	監視・操作・記録	—	1式
		遠方監視制御設備	NTT専用回線 3.4kHz帯域	—	1式
		自家発電設備	210V 75KVA ディーゼルエンジン	—	1式

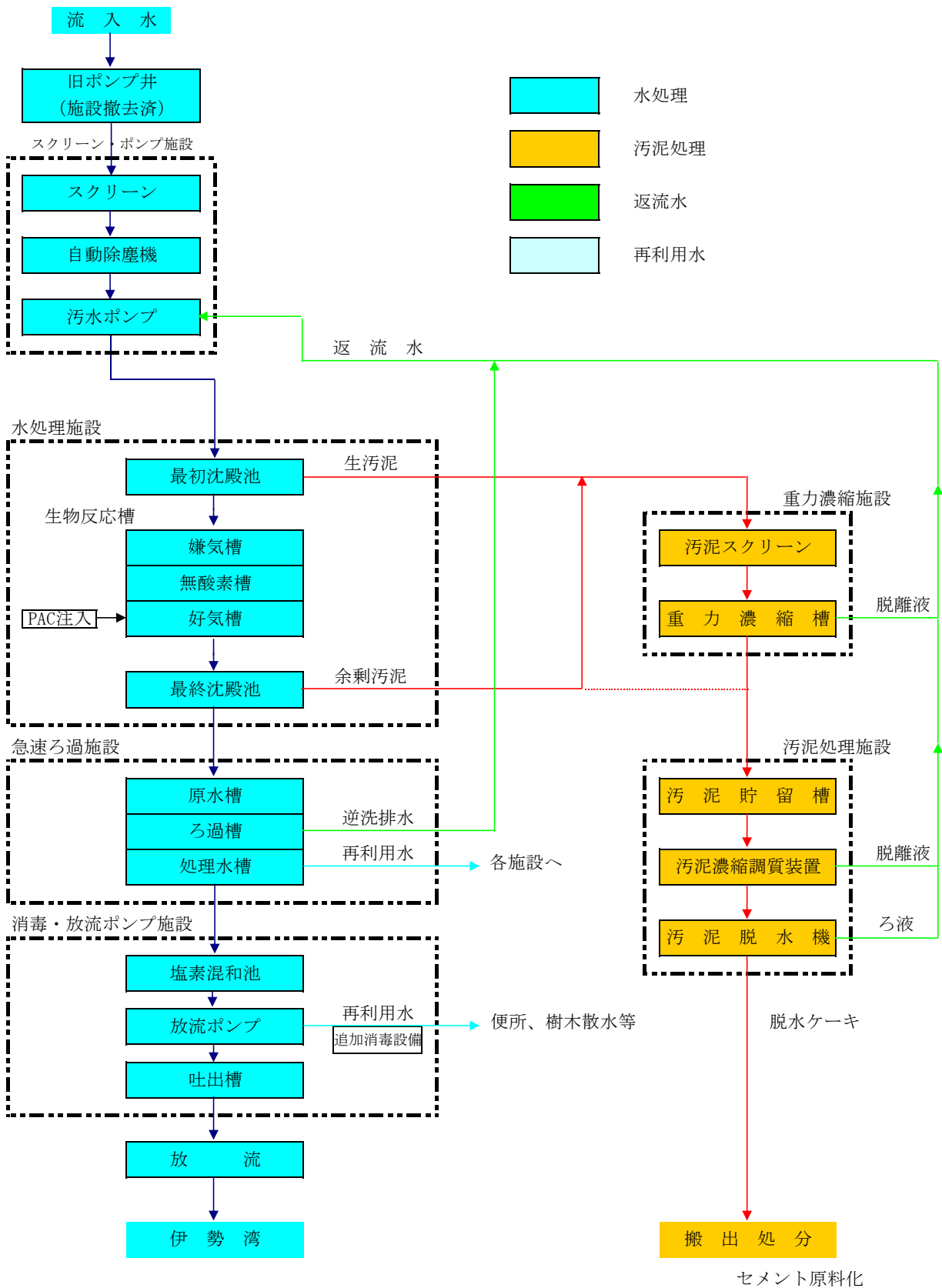
施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量(kw)	台数
山添 ポンプ 場	ポンプ 設備	主水路流入ゲート	電動式角形鋳鉄製ゲート W400*H400	0.75	1
		バイパスゲート	電動式角形鋳鉄製ゲート W400*H400	0.75	1
		破碎機	回転レーキスクリーン付破碎機 W800*H561*7.2m <sup>3</sup> /min	2.2+0.4	1
		手掻スクリーン	バーススクリーン W600*H1,400 目幅40mm	—	1
		主ポンプ	水中汚水ポンプ(ハンロック形) φ 150*2.4m <sup>3</sup> /min*13.0m	11	2
		連絡ゲート	手動式角形鋳鉄製ゲート W400*H400	—	1
		ポンプ吊上装置	手動式チェーンブロック 0.5t*5m	—	1
		破碎機用吊上装置	手動式チェーンブロック 1.0t*5.0m	—	1
		ゲート用吊上装置	手動式チェーンブロック 0.5t*15m	—	1
		搬出入用吊上装置	電動式チェーンブロック 1.0t*16m	1.4+0.2	1
	脱臭 設備	脱臭ファン	FRP製片吸込ターボファン 8m <sup>3</sup> /min*1.9kPa	1.5	1
		活性炭吸着塔	立型乾式吸着塔 8m <sup>3</sup> /min	—	1
		ミストセパレータ	FRP製 処理風量8m <sup>3</sup> /min	—	1
	その他	受変電設備	低圧 200V受電	—	1式
監視制御設備		監視・操作・記録	—	1式	
遠方監視制御設備		NTT専用回線 3.4kHz帯域	—	1式	

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量(kw)	台数
川口 ポンプ 場	ポンプ 設備	流入ゲート	電動式角形鋳鉄製ゲート W500*H500	0.75	2
		破碎機	回転レーキスクリーン付破碎機 W1,000*H900*4.4m <sup>3</sup> /min	2.2+0.4	1
		手掻スクリーン	バーススクリーン W500*H1,050 目幅100mm	—	1
		粗目スクリーン	バーススクリーン W400*H700 目幅40mm	—	1
		流出ゲート	手動式角形鋳鉄製ゲート W500*H500	—	2
		主ポンプ	吸込スクリーン付水中汚水ポンプ φ 100*1.0m <sup>3</sup> /min*33.0m	15	2
		連絡ゲート	手動式角形鋳鉄製ゲート W400*H400	—	1
		ポンプ井攪拌機	水中ミキサー	1.5	1
		ポンプ吊上装置	手動式チェーンブロック 1.0t*8m	—	1
		破碎機用吊上装置	手動式チェーンブロック 0.5t*6.0m	—	1
	脱臭 設備	脱臭ファン	FRP製片吸込ターボファン 10m <sup>3</sup> /min*1.96kPa	1.5	1
		活性炭吸着塔	立形活性炭吸着塔 10m <sup>3</sup> /min	—	1
		活性炭吸着塔用吊上装置	手動式チェーンブロック 0.5t*4m	—	1
	その他	受変電設備	高圧A 6kV受電	—	1式
監視制御設備		監視・操作・記録	—	1式	
遠方監視制御設備		NTT専用回線 3.4kHz帯域	—	1式	
自家発電設備		210V 125KVA ディーゼルエンジン	—	1式	

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量(kw)	台数
早馬瀬 マンホール ポンプ 場	ポンプ 設備	水中ポンプ	水中汚水ポンプ 1.5m <sup>3</sup> /min	15	2
		自家発電設備	200V 50KVA、ディーゼルエンジン	—	1式
		受電	低圧電力+従量電灯	—	1式
		遠方監視制御設備	NTT専用回線 50bps符号線	—	1式

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量(kw)	台数	
朝長マンホールポンプ場	暫定施設 ポンプ設備	水中ポンプ	水中汚水ポンプ 1.5m <sup>3</sup> /min	15	2	
		自家発電設備	200V 50KVA、ディーゼルエンジン	—	1式	
		受電	低圧電力+従量電灯	—	1式	
		遠方監視制御設備	NTT専用回線 50bps符号線	—	1式	
弟国マンホールポンプ場	暫定施設 ポンプ設備	水中ポンプ	水中汚水ポンプ 1.5m <sup>3</sup> /min	7.5	2	
		自家発電設備(屋外型)	200V 37.5KVA、ディーゼルエンジン	—	1式	
		受電	低圧電力+従量電灯	—	1式	
		遠方監視制御設備	NTT専用回線 50bps符号線	—	1式	

(5) 松阪浄化センター処理フロー



## (6) 水質管理状況

### ア 水処理管理状況の概要

#### (ア) 流入水量

平成22年度の日平均水量は、21,451 m<sup>3</sup>/日であり、前年度の21,421 m<sup>3</sup>/日と比較して、30 m<sup>3</sup>/日増加した。(19年度から20年度にかけての増加水量は790 m<sup>3</sup>/日、20年度から21年度にかけての増加水量は1,035 m<sup>3</sup>/日)

#### (イ) 流入水質(BOD、COD、SS、全窒素、全りん及び有害物質等)

平成22年度における年平均流入水質は、BOD濃度170 mg/L、COD濃度 98mg/L、SS濃度 150mg/L、全窒素濃度33 mg/L、全りん濃度3.7 mg/Lであり、流入水質は前年度とほぼ同質であった。

陰イオン界面活性剤濃度について、年平均値は 3.8 mg/L(前年度3.4 mg/L)であった。

n-ヘキサン抽出物質濃度の年平均値は、17 mg/L(前年度13 mg/L)であり、個々には10 mg/L～40 mg/L の濃度範囲であった。

なお、有害物質27項目については、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物濃度(最高 8.8 mg/L)を除き、すべて報告下限値未満であった。

最近の3ヶ年の水質(各年度平均値)

(単位:mg/L)

	流入水質			放流水質		
	20年度	21年度	22年度	20年度	21年度	22年度
BOD	150	170	170	<0.5	0.6	0.8
COD	86	93	98	5.7	5.7	6.2
SS	160	170	150	<1	<1	<1
全窒素	31	34	33	7.8	7.4	7.6
全りん	3.5	3.8	3.7	<0.1	<0.1	<0.1

#### (ウ) 放流水質(BOD、COD、SS、全窒素、全りん及び有害物質等)

平成21年度における放流水質について年平均濃度で見ると、BODが 0.8 mg/L (前年度0.6 mg/L)、CODが6.2 mg/L(前年度5.7 mg/L)、SSは1 mg/L未満(前年度1 mg/L 未満)、全窒素が7.6 mg/L(前年度7.4 mg/L)、全りんは0.1 mg/L未満(前年度0.1 mg/L未満)となっており、前年度と同様に良好な処理状況であった。

有害物質27項目については、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物濃度(最高 8.8 mg/L)を除き、すべて報告下限値未満であった。



(エ) 環境保全に係る取り組み

a 水質自主管理目標値の設定

周辺海域の富栄養化防止に努めるため、放流水質にかかる水質自主管理目標値を法令に定める基準より厳しい値を設定して運転管理を行っている。

法令の排水基準及び水質自主管理目標値

項目	法令の排水基準	水質自主管理目標値(年平均値)
B O D (mg/l)	15	1.5
C O D (mg/l)	130 (100)	9.0
S S (mg/l)	40	1未満
p H (--- )	5.8~8.6	5.8~8.6
T-N (mg/l)	10	9.0
T-P (mg/l)	1.0	0.5

b 放流水の適切な消毒

当浄化センターでは急速ろ過設備内での藻類の発生を防止するため、ろ過施設の前段階で次亜塩素酸ナトリウムを注入している。また、放流水については放流先海域への微生物汚染防止に努めつつ消毒による放流先海域の水生物等への影響防止を図るため、残留塩素濃度の確認を行いながら適切な消毒を行っている。

c 魚類による水質の監視

最終沈殿池の一部に生け簀を設置し、鯉を飼育・観察することで処理水の異常の発見、および通常状態での安全性の確認を行っている。

また、これを見学に供することにより、見学者が下水処理の効果を実感し、水質浄化に対する認識を深められることを期待するものである。

(オ) 処理水の利用

当浄化センターでは処理水を、管理本館内の水洗トイレの洗浄水、場内の植栽への撒き水、および当浄化センターに隣接する「せせらぎ公園」の修景水として利用している。

## イ 月別の水処理管理状況

### 4月

4月期における平均的な処理水量は、日量22,421 m<sup>3</sup>であった。

生物反応槽の水温上昇に伴い、MLSS管理目標濃度を2,000 mg/Lから1,900 mg/Lに、DO監視目標値を1.6mg/Lから1.4mg/Lに変更し運転を行った。4月期を通して水処理は安定していた。

### 5月

5月期における平均的な処理水量は、日量22,963 m<sup>3</sup>であった。

5月17日に生物反応槽の切換え（1系2号池を休止し2系1号池を運用開始）を行い、日処理能力を30,400m<sup>3</sup>から32,300m<sup>3</sup>とした。

また、5月23日～24日に130mmの降雨の影響により汚水流入量が増加したため、時間揚水量を日処理能力の110%まで上げたが、放流水質等に問題なく対応できた。

### 6月

6月期における平均的な処理水量は、日量21,919 m<sup>3</sup>であった。

生物反応槽の水温上昇に伴い、MLSS監視目標濃度を1,900mg/Lから1,700mg/Lとした。

また、5月に運用を開始した2系1号生物反応槽についても、活性汚泥の形成が出来ており、良好な処理が出来ていた。

### 7月

7月期における平均的な処理水量は、日量23,019 m<sup>3</sup>であった。

コスト削減を図るため、7月6日からPACの注入を停止したが、降雨の影響により放流水のりん濃度が上昇(日平均濃度:0.32mg/L)したため、16日に再度注入を開始した。その後、りん濃度が低下したため、28日に注入を停止した。

その他の水質項目については問題なく処理が出来ていた。

### 8月

8月期における平均的な処理水量は、日量21,557 m<sup>3</sup>であった。

PACを停止している影響で、一時的にりん濃度が上昇する時間帯があったが、日平均濃度には問題なく、8月期を通して水処理は安定していた。

### 9月

9月期における平均的な処理水量は、日量21,351 m<sup>3</sup>であった。

9月9日からりん濃度が上昇(日平均濃度:0.46mg/L)したため、PACの注入を再開することにより対応を行い、自主管理目標値以下の濃度に維持することができた。

### 10月

10月期における平均的な処理水量は、日量21,888 m<sup>3</sup>であった。

りん濃度については徐々に安定し、PACの注入量を最低量に設定しても問題なく処理ができるようになった。

#### 1 1月

11月期における平均的な処理水量は、日量21,182 m<sup>3</sup>であった。

生物反応槽の水温が低下傾向を示したことから、MLSS監視目標濃度を1,700mg/Lから1,900mg/Lに変更したが、低い濃度で推移していた。窒素・りん・COD等の水質項目については、問題なく処理が出来ていた。

#### 1 2月

12月期における平均的な処理水量は、日量20,746 m<sup>3</sup>であった。

放流水の窒素濃度が上昇傾向を示した（日平均濃度：8.5mg/L）ため、硝化循環率を上げることで対応し、その後は安定した処理が出来た。

また、監視目標濃度に対し低めに推移していたMLSSについては、余剰汚泥引抜量を減らすことにより、目標濃度である1,900mg/Lまで上昇し、生物反応槽の水温低下にも対応できた。

#### 1 月

1月期における平均的な処理水量は、日量19,947 m<sup>3</sup>であった。

年始における窒素濃度の高負荷流入水対策として、処理水を流入へ返流すること及び生物反応槽へメタノールを添加することで対応した結果、管理目標値以内で処理することができた。

1系1号池の処理状況が悪く、最終沈殿池の窒素等の濃度が高めを推移していたため、19日より1系2号池へ切換え運転したが処理状況に変化は見られなかった。その他の生物反応槽については安定した処理ができているため、放流水の水質については問題がなかった。

#### 2月

2月期における平均的な処理水量は、日量19,463 m<sup>3</sup>であった。

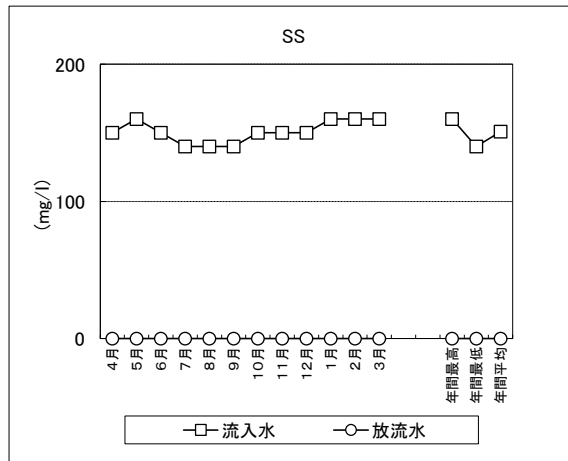
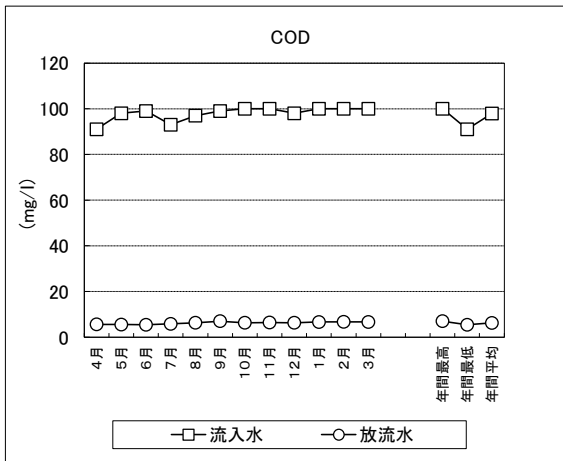
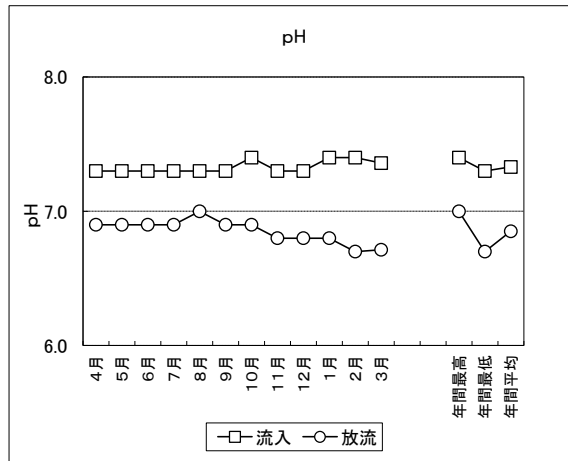
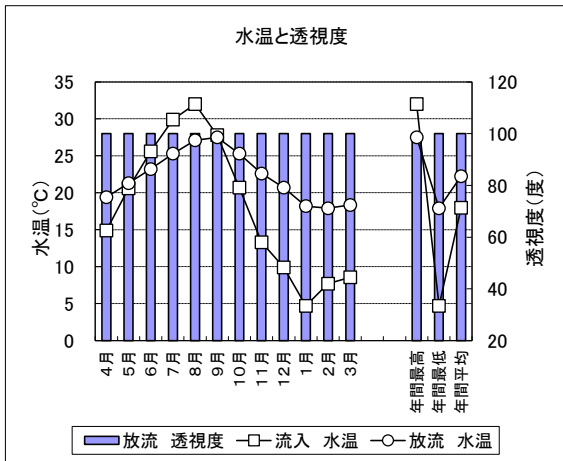
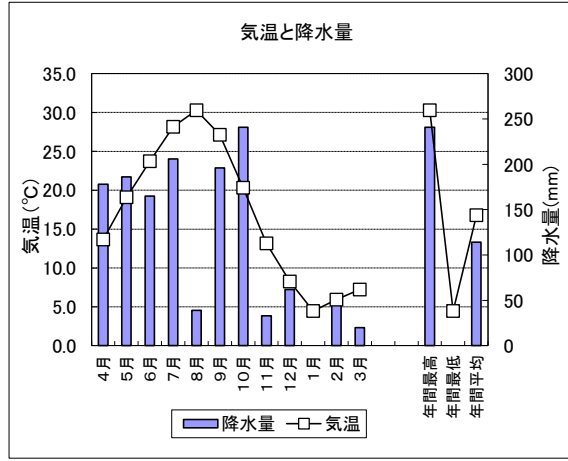
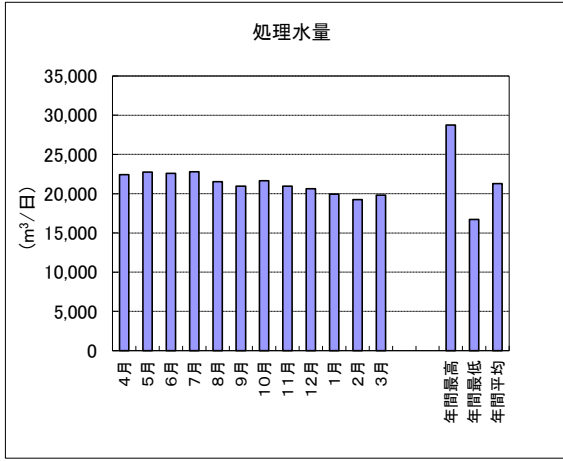
2月上旬から放流水の窒素濃度が上昇（日平均濃度：9.4mg/L）したため、硝化循環率を上げることで対応し、管理目標値以内に抑えることができた。

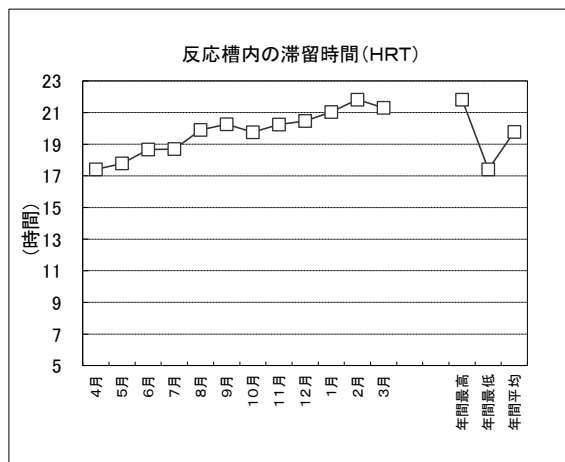
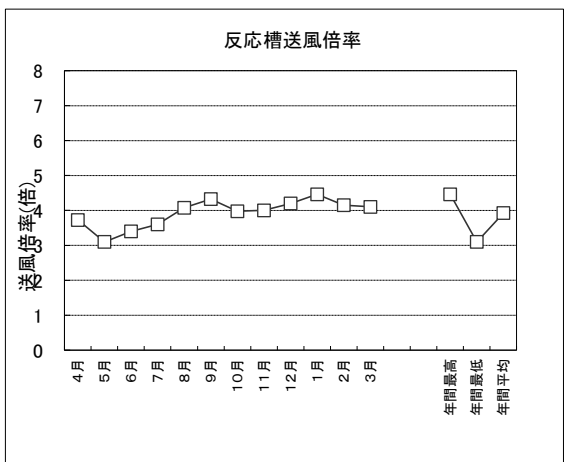
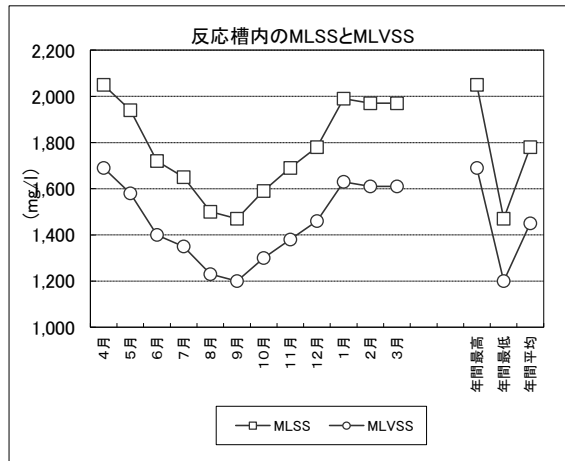
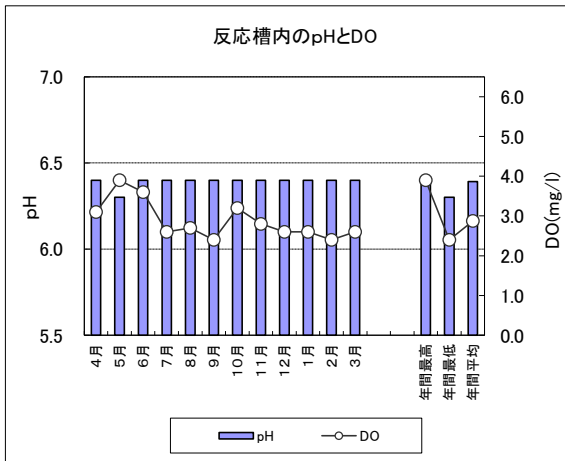
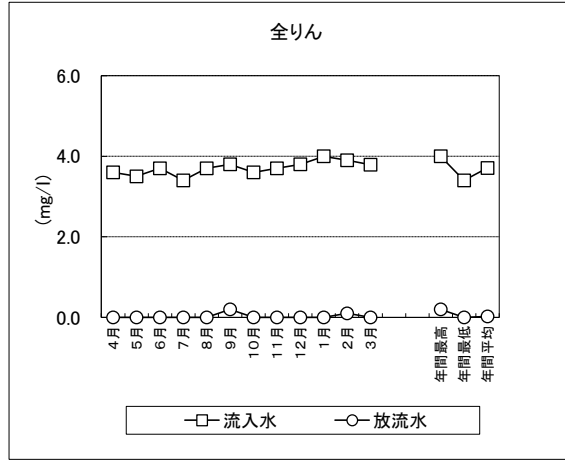
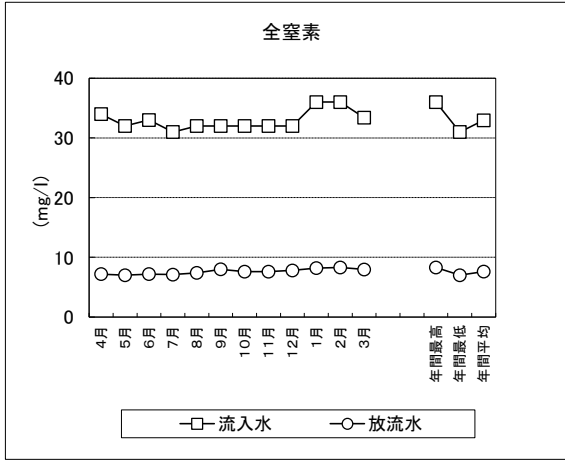
#### 3月

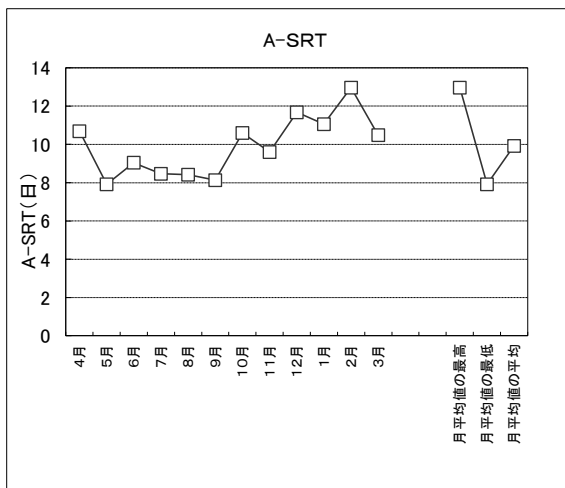
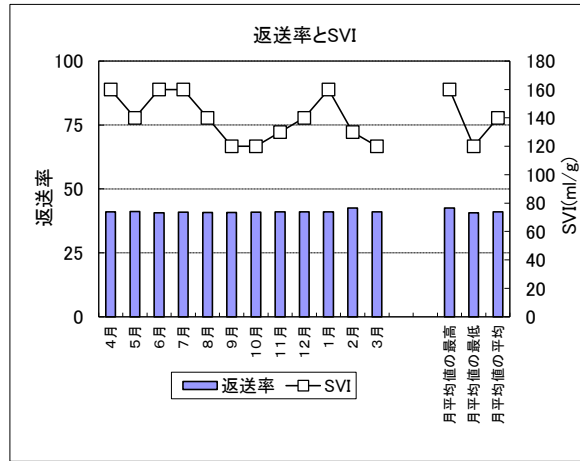
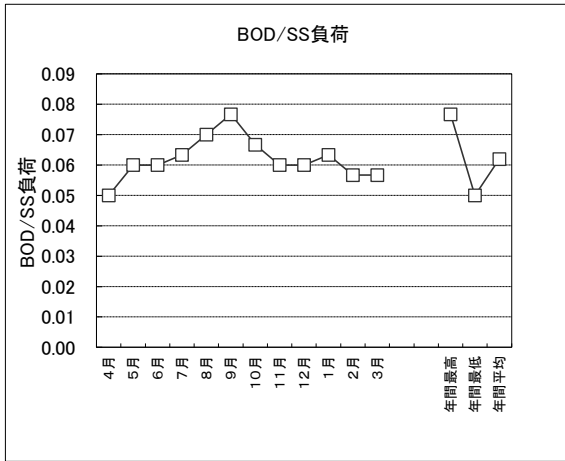
3月期における平均的な処理水量は日量19,837 m<sup>3</sup>であった。

窒素等の水質は月間を通じて高めで推移していたが、管理目標値以内で処理が出来ていた。月の後半には生物反応槽の水温上場に伴い、活性汚泥の状態も徐々に良好になった。

※ 各月状況における水質については、自動測定器の数値を記載した







1. 各月のデータは、その月平均値。
2. 年間最高値は、年間の総データの最高値。
3. 年間最低値は、年間の総データの最低値。
4. 年間平均値は、月平均の平均値。
5. ただし、降水量の各月のデータは、日降水量の累積値で、年間値は日降水量の値。

## 7) 汚水処理水量

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	日平均
流入水量 [m <sup>3</sup> ]	672,625	711,840	687,562	713,590	668,259	640,527	678,533	635,458	643,118	618,359	544,977	614,932	7,829,780	21,451
晴天時流入水量 [m <sup>3</sup> ]	486,808	546,395	384,310	501,479	559,945	440,504	390,109	587,411	474,735	618,359	422,952	515,703	5,928,710	21,174
晴天時日数 [日]	22	24	17	22	26	21	18	28	23	31	22	26	280	—
晴天時平均 [m <sup>3</sup> /日]	22,128	22,766	22,606	22,795	21,536	20,976	21,673	20,979	20,641	19,947	19,225	19,835	—	—
雨天時流入水量 [m <sup>3</sup> ]	185,817	165,445	303,252	212,111	108,314	200,023	288,424	48,047	168,383	0	122,025	99,229	1,901,070	22,366
雨天時日数 [日]	8	7	13	9	5	9	13	2	8	0	6	5	85	—
雨天時平均 [m <sup>3</sup> /日]	23,227	23,635	23,327	23,568	21,663	22,225	22,186	24,124	21,048	0	20,338	19,846	—	—
日平均流入水量 [m <sup>3</sup> /日]	22,421	22,963	22,919	23,019	21,557	21,351	21,888	21,182	20,746	19,947	19,463	19,837	—	—
放流水量 [m <sup>3</sup> ]	676,230	701,150	664,560	707,180	653,630	632,180	672,840	653,730	663,350	645,320	593,450	668,610	7,932,230	21,732
再生利用水 [m <sup>3</sup> ]	30,001	32,587	31,653	31,057	32,260	29,392	28,131	27,069	28,244	26,979	25,437	28,721	351,531	963

## 8) 電力・水道・薬品・燃料

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	日平均
電力 [kWh]	410,852	427,864	422,122	465,483	465,109	441,171	425,109	402,879	425,434	439,081	407,953	454,274	5,187,331	14,212
電力負荷 [kWh/m <sup>3</sup> ]	0.61	0.60	0.61	0.65	0.70	0.69	0.63	0.63	0.66	0.71	0.75	0.74	—	0.66
水道 [m <sup>3</sup> ]	267	340	317	400	439	384	375	327	323	336	344	540	4,392	12
次亜塩素酸ナトリウム [ℓ]	7,770	8,830	8,600	8,430	6,413	2,570	640	445	581	597	567	525	45,968	126
ポリ塩化アルミニウム [ℓ]	12,510	13,100	9,610	5,560	210	5,290	9,780	5,450	8,150	11,480	11,760	11,820	104,720	287
硫酸 [ℓ]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水酸化ナトリウム [ℓ]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高分子凝集剤 [kg]	935.9	1,093.7	965.3	838.6	755.9	707.8	709.3	747.3	795.1	955.9	909.4	1,013.1	10,427.3	28.6
ポリ硫酸第2鉄 (鉄分1%液) [kg]	21,561	23,486	22,469	20,269	20,440	17,557	16,746	18,113	17,175	24,280	22,389	24,017	248,502	681
重油 [ℓ]	66	65	66	65	291	65	65	370	67	67	64	292	1,543	4
灯油 [ℓ]	180	50	670	2,010	2,800	1,810	0	60	1,000	2,010	1,640	1,970	14,200	39

## 9) 汚泥脱水処理

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	日平均
脱水処理量 [m <sup>3</sup> ]	5,660	6,171	6,194	6,458	6,627	5,932	5,797	5,036	5,239	4,977	4,975	5,377	68,443	188
脱水機運転時間 [h:m]	795:45	840:03	806:56	755:24	769:45	702:20	693:00	731:42	795:33	817:06	733:16	811:38	9252:28	25:20
ケーキ処分量 [t]	507.51	536.59	515.14	475.25	476.74	433.05	434.01	473.99	504.01	534.91	504.11	546.25	5,941.56	16.28
焼却・埋立処分量 [t]	2.78	1.65	0.00	1.13	1.66	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.89	9.11	0.02
セメント材 [t]	504.73	534.94	515.14	474.12	475.08	433.05	434.01	473.99	504.01	534.91	504.11	544.36	5,932.45	16.25
日平均ケーキ処分量 [t/日]	16.9	17.3	17.2	15.3	15.4	14.4	14.0	15.8	16.3	17.3	18.0	17.6	—	16.3
ケーキ含水率日平均 [%]	73.5	73.6	73.4	73.2	73.4	73.6	73.4	73.8	73.8	73.7	73.5	73.6	—	73.5
汚泥1m <sup>3</sup> 当り高分子凝集剤添加量 [kg]	0.17	0.18	0.16	0.13	0.11	0.12	0.12	0.15	0.15	0.19	0.18	0.19	—	0.15
ケーキ1t当り高分子凝集剤添加量 [kg]	1.84	2.04	1.87	1.76	1.59	1.63	1.63	1.58	1.58	1.79	1.80	1.85	—	1.75
汚泥1m <sup>3</sup> 当りポリ鉄添加量 [kg]	3.81	3.81	3.63	3.14	3.08	3.00	2.89	3.60	3.28	4.88	4.50	4.47	—	3.63
ケーキ1t当りポリ鉄添加量 [kg]	42.48	43.77	43.61	42.65	42.87	40.54	38.58	38.21	34.08	45.39	44.41	43.97	—	41.82

## (10) 施設点検業務の概要

## 施設点検整備概要

平成22年度

工事番号	工事名	整備内容
修1	三渡川ポンプ場汚水ポンプ羽根車取替工事	No.1-1及びNo.1-2汚水ポンプ羽根車、吸込カバー取替
修2	No.1汚泥脱水機内ろ布駆動軸修繕工事	内ろ布駆動軸の修繕
修3	No.1-1流入ポンプ及びNo.4放流ポンプ分解整備工事	No.1-1流入ポンプ、No.4放流ポンプも分解整備
修4	No.2汚泥脱水機他分解整備工事	No.2汚泥脱水機修繕、No.2脱水機動力制御盤センサー交換、No.2汚泥濃縮装置動力制御盤修繕、No.3汚泥濃縮調質装置修繕
修5	三渡川ポンプ場No.2-1汚水ポンプ修理工事	No.2-1汚水ポンプの電動機の取替修繕

## 施設故障状況及び処置概要(その1)

件名番号	件名	整備内容
1	スクリーンポンプ棟し渣搬出室シャッター修理	吊り元部品、リミット装置、無線信号装置盤、受光部、発光部の取替修理
2	放流ポンプ棟次亜塩素酸注入ポンプ修理	ダイヤフラムヘッド取替
3	汚泥処理棟No.1助剤警報設定器修繕	警報設定器取替
4	2系No.1、2初沈、終沈掻寄機用サイクロ減速機改修	グリス潤滑仕様からオイル潤滑仕様への改造
5	2系水処理施設外灯水銀灯回路絶縁不良修理	絶縁不良の回路があり業者「かし」にて修理
6	急速ろ過棟No.2シール水給水ポンプ電動仕切弁修繕	仕切弁の交換
7	水処理CRT監視装置パラレルプリンタN003修理	リボンドライブASY、印字ヘッド交換他
8	スクリーンポンプ棟軸封水配管修繕	腐食の激しい配管の取替、SUS化する
9	自動採水器ディスプレイ修理	液晶ディスプレイ取替
10	各機器アワーメーター表示不良	アワーメーターの取替(22個)
11	急速ろ過棟搬入扉修繕	扉取り外し歪み修正。ロック機構取替
12	自動採水器採水不能修理	コントローラー内セフティセンサー取替
13	百葉箱修繕	取替修繕
14	1系3・4池返送汚泥濃度計リペアゲート破損修繕	リペアゲート取替
15	急速ろ過棟見学通路壁面塗装	急速ろ過棟南面、西面の壁塗装
16	1系No.3・4終沈掻寄機塗装	ケレン、高圧洗浄、エポタルBOエコ塗装1回
17	急速ろ過遮光ネット製作取付	1系4池に遮光ネット設置
18	放流棟給水ユニット複式ストレーナーコック栓取付部腐食	複式ストレーナー取替
19	中川ポンプ場VVVF装置点検	汚水ポンプの揚水不良が発生することがあり、その調査をかねてVVVF装置の点検実施
20	放流ポンプ棟No.2・3放流ポンプシール水管修繕	ステンレス管に取替、電動弁、フローゲージ取替
21	自動採水器採水不能修理	不良ギヤ取替修理
22	令温水発生器修理	冷暖切替弁交換、ガス漏れ調査
23	濃縮汚泥マイクロ波濃度計修繕	IC(3端子レギュレータ)交換
24	各棟電気設備盤、フィルター劣化修繕	フィルター取替
25	汚泥濃縮棟汚泥スクリーン処理調整板修繕	ステンレス製丁番に取替
26	三渡川ポンプ場自家発電設備電圧継電器取替	電圧継電器取替
27	中央監視室遠方監視CRT監視操作カー装置プリンタ2異常	ノートパソコン取替
28	No.1供給汚泥マイクロ波濃度計修繕	IC(3端子レギュレータ)、放熱シート(2枚)交換
29	1系No.1初沈スラム移送ポンプ逆止弁修繕	フランジ形スイング逆止め弁アーム交換
30	1系余剰汚泥自動運転用タイムスイッチ修繕	1系初沈汚泥、余剰汚泥引抜他のタイマー4個取替
31	正門門扉修繕	門扉取替
32	三渡川ポンプ場No.1-1汚水ポンプ絶縁不良修繕	電動機乾燥
33	三渡川ポンプ場ガスタービンエキサイター取替	リコールによる取替
34	水処理・放流外壁漏水修繕	薬液注入による修繕
35	No.3汚泥脱水機主脱水駆動軸用スプロケット修繕	スプロケット、ローチェーン及びブルーロン軸受メタル交換
36	中央監視室空調機修	圧縮機、電磁開閉器、オイルヒーター他取替
37	1F宿直室空調機取替修繕	空冷ヒートポンプ式ルームエアコン取替
38	正門門扉デリネーター取付	車による衝突防止のため反射材取付
39	自家発電用チャンバー防音材修繕	防音材取替
40	水処理ロガー装置表示不具合修繕	グラフィックカード工場修理、VGAチップ交換
41	放流ポンプ棟No.4放流ポンプシール水管修繕	SGPWをSUSφ40Aに交換、電動弁・フローゲージ取替



## (11)水質試験業務

## ア. 流入、放流水質試験

項目 月	気温	水温		透視度		pH		SS		BOD		COD		溶解性TOC	
	°C	°C		度		-		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L	
単位															
区分	流入	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	14.9	19.2	19.4	5	>100	7.3	6.9	150	<1	180	0.6	91	5.6	37	4.2
5月	20.6	20.9	21.3	4	>100	7.3	6.9	160	<1	210	0.8	98	5.5	38	4.9
6月	25.6	22.5	23.2	4	>100	7.3	6.9	150	<1	160	0.6	99	5.4	42	5.2
7月	29.9	24.2	25.3	5	>100	7.3	6.9	140	<1	150	1.0	93	5.8	40	5.4
8月	32.0	25.9	27.1	5	>100	7.3	7.0	140	<1	140	0.8	97	6.3	43	5.9
9月	27.8	26.2	27.5	4	>100	7.3	6.9	140	<1	150	0.9	99	7.0	42	6.0
10月	20.7	24.6	25.3	4	>100	7.4	6.9	150	<1	160	0.7	100	6.3	43	5.7
11月	13.3	22.4	22.6	4	>100	7.3	6.8	150	<1	160	0.8	100	6.4	47	5.6
12月	9.9	20.8	20.7	4	>100	7.3	6.8	150	<1	180	0.6	98	6.3	42	5.0
1月	4.7	18.6	18.2	4	>100	7.4	6.8	160	<1	180	0.8	100	6.6	49	5.4
2月	7.7	18.1	17.9	4	>100	7.4	6.7	160	<1	190	0.9	100	6.7	48	5.0
3月	8.6	18.4	18.3	4	>100	7.4	6.7	160	<1	200	0.8	100	6.6	47	5.6
最高	34.7	26.8	28.1	6	>100	7.6	7.2	230	2	240	1.3	120	7.3	52	7.6
最低	2.1	17.7	17.5	4	>100	7.0	6.6	74	<1	120	0.5	56	4.9	25	3.6
平均	18.0	21.8	22.2	4	>100	7.3	6.9	150	<1	170	0.8	98	6.2	43	5.3
測定回数	242	242	242	242	242	242	242	241	242	48	48	241	242	49	49
放流基準値			—		—		5.8~8.6		40		10		130(100)		—

項目 月	電気伝導率		大腸菌群数		遊離 残留塩素	全蒸発残留物		強熱減量		塩化物イオン		よう素消費量		全窒素	
	mS/m		個/cm <sup>3</sup>		mg/L	mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L	
単位															
区分	流入	放流	流入	放流	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	48	37	83,000	0	0.02	410	220	220	48	43	46	7	<1	34	7.2
5月	48	36	100,000	0	0.02	460	260	270	85	44	45	7	<1	32	7.0
6月	49	37	150,000	0	0.02	440	260	240	80	40	42	6	<1	33	7.2
7月	48	36	210,000	2	0.02	380	180	240	58	41	42	8	<1	31	7.1
8月	50	38	180,000	33	0.02	420	230	230	60	42	43	10	<1	32	7.4
9月	50	38	220,000	120	0.02	440	220	260	58	43	44	12	<1	32	8.0
10月	50	38	190,000	94	0.02	440	230	250	58	40	42	8	<1	32	7.6
11月	50	37	170,000	70	0.02	440	230	240	49	40	40	8	<1	32	7.6
12月	51	38	160,000	58	0.01	430	230	240	52	40	44	6	<1	32	7.8
1月	54	40	160,000	71	0.02	450	240	240	60	45	48	8	<1	36	8.2
2月	53	40	150,000	77	0.02	460	240	250	50	44	46	6	<1	36	8.3
3月	52	38	150,000	80	0.02	440	240	240	49	45	45	7	<1	33	8.0
最高	60	41	360,000	250	0.04	520	370	330	190	46	50	14	<1	40	8.9
最低	39	30	58,000	0	<0.05	240	60	140	40	34	38	4	<1	24	5.5
平均	50	38	160,000	50	<0.05	430	230	240	59	42	44	8	<1	33	7.6
測定回数	241	242	52	102	242	51	51	51	51	53	53	51	51	112	113
放流基準値		—		3000	—		—		—		—		—		10

項目 月	NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> -N		NO <sub>2</sub> <sup>-</sup> -N		NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> -N		全りん		PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> -P		色度		濁度		陰イオン 界面活性剤	
	mgN/L		mgN/L		mgN/L		mg/L		mgP/L		度		度		mg/L	
単位	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	19	<0.1	<0.1	<0.1	0.3	7.1	3.6	<0.1	1.1	<0.1	27	7.0	170	<1	5.2	<0.1
5月	19	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	6.8	3.5	<0.1	1.0	<0.1	28	6.0	190	<1	3.6	<0.1
6月	19	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	7.0	3.7	<0.1	1.0	<0.1	30	7.0	180	<1	4.5	<0.1
7月	18	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	6.8	3.4	<0.1	1.0	<0.1	33	8.0	140	<1	3.0	<0.1
8月	19	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	7.3	3.7	<0.1	1.3	<0.1	43	10	140	<1	3.6	<0.1
9月	20	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	7.6	3.8	0.2	1.4	0.1	34	11	160	<1	3.4	<0.1
10月	20	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	7.6	3.6	<0.1	1.1	<0.1	89	10	160	<1	3.9	<0.1
11月	21	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	7.4	3.7	<0.1	1.2	<0.1	98	11	160	<1	3.5	<0.1
12月	20	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	7.6	3.8	<0.1	1.3	<0.1	170	11	160	<1	3.7	<0.1
1月	22	<0.1	<0.1	<0.1	0.2	8.2	4.0	<0.1	1.4	<0.1	97	11	160	<1	3.8	<0.1
2月	22	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	8.0	3.9	0.1	1.3	<0.1	35	10	160	<1	3.9	<0.1
3月	20	<0.1	0.1	<0.1	0.1	8.0	3.8	<0.1	1.2	<0.1	42	9.3	160	<1	4.0	<0.1
最高	26	<0.1	0.3	<0.1	1.1	8.8	4.4	0.4	1.5	0.3	270	12	250	1	5.6	<0.1
最低	14	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	5.8	2.4	<0.1	0.6	<0.1	22	6.0	72	<1	1.5	<0.1
平均	20	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	7.4	3.7	<0.1	1.2	<0.1	60	9.3	160	<1	3.8	<0.1
測定回数	101	107	98	102	93	102	126	126	101	102	48	48	48	48	24	24
放流基準値		—		—		—		1.0		—		—		—		—

項目 月	n-ヘキサン 抽出物質		フェノール類		銅		亜鉛		溶解性鉄		溶解性マンガン		全クロム		カドミウム	
	mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L	
単位	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	21	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
5月	16	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
6月	62	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.1	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
7月	50	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
8月	59	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
9月	41	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
10月	29	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
11月	28	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
12月	44	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
1月	45	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
2月	40	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
3月	50	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.8	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
最高	40	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.8	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
最低	10	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
平均	17	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
測定回数	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
放流基準値		錳物油 5 動植物油 30		1		1		2		10		10		2		0.1



項目 月	1,1,2-トリクロロエタン		1,3-ジクロロプロペン		チウラム		シマジン		チオベンカルブ		ベンゼン		セレン		弗素	
	mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L		mg/L	
単位	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
5月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
6月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
7月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
8月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
9月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
10月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
11月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
12月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
1月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
2月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
3月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
最高	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
最低	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
平均	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
測定回数	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
放流基準値		0.06		0.02		0.06		0.03		0.2		0.1		0.1		15

項目 月	ほう素		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	
	mg/L		mg/L	
単位	流入	放流	流入	放流
4月	<1	<1	7.6	8.4
5月	<1	<1	7.6	8.4
6月	<1	<1	6.8	7.8
7月	<1	<1	6.6	6.8
8月	<1	<1	7.2	7.2
9月	<1	<1	7.6	7.7
10月	<1	<1	8.0	7.7
11月	<1	<1	8.2	7.8
12月	<1	<1	8.1	7.5
1月	<1	<1	8.7	8.2
2月	<1	<1	8.6	8.0
3月	<1	<1	8.2	8.0
最高	<1	<1	8.8	8.8
最低	<1	<1	6.0	6.3
平均	<1	<1	7.8	7.3
測定回数	24	24	24	24
放流基準値		230		100

備考

1. 数値は各月の平均値である。
2. 各月の透視度の平均は、測定結果が100度を超えた場合、“100度”として算出してある。
3. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。
4. 「最高」「最低」は年間の最高値最低値である。
5. 「平均」は月平均の平均値である。
6. 放流基準値の( )内の数値は日間平均値を示す。
7. アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物については、アンモニア性窒素に0.4を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量

イ. 生物反応槽試験

1系-1

項目	水温	pH	MLDO	SV30	MLSS	SVI	MLVSS	有機分	Rr	Kr
	℃									
4月	19.8	6.4	3.0	22	2,040	110	1,670	82	11	5.2
5月	21.6	6.3	4.0	16	1,950	84	1,550	80	10	5.1
6月	23.3	6.4	4.5	15	1,710	88	1,370	79	9.8	5.7
7月	25.3	6.4	2.9	15	1,630	90	1,300	80	12	7.3
8月	27.0	6.5	3.5	14	1,460	98	1,190	82	11	7.7
9月	27.5	6.4	3.2	12	1,450	87	1,170	81	12	8.5
10月	25.4	6.4	4.2	15	1,690	85	1,370	80	13	7.5
11月	22.9	6.4	4.2	14	1,600	88	1,300	81	11	6.7
12月	21.1	6.4	3.1	15	1,690	88	1,380	82	11	6.4
1月	19.0	6.4	2.7	16	1,870	82	1,550	83	12	6.2
2月										
3月										
最高	28.1	6.8	5.3	29	2140	140	1760	83	16.0	9.8
最低	18.5	6.3	1.4	7	1350	56	1090	77	8.7	4.4
平均	23.3	6.4	3.5	15	1710	90	1390	81	11.2	6.6
測定回数	186	186	80	186	80	78	75	78	78	78

1系-2

項目	水温	pH	MLDO	SV30	MLSS	SVI	MLVSS	有機分	Rr	Kr
	℃									
4月	19.8	6.3	2.3	23	2,070	110	1,690	82	10.5	5.1
5月	21.4	6.3	2.2	17	2,000	88	1,620	81	11.0	5.5
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
1月	18.5	6.3	1.8	18	1,970	93	1,610	82	11.5	5.8
2月	18.4	6.3	2.2	19	1,930	97	1,590	83	11.1	5.8
3月	18.8	6.3	2.2	18	1,850	100	1,530	83	11.8	6.4
最高	21.6	6.5	3.1	32	2230	150	1810	84	13.0	6.4
最低	18.0	6.2	1.5	15	1670	82	1390	81	9.8	
平均	19.4	6.3	2.1	19	1960	98	1610	82	11.2	2.4
測定回数	78	78	34	78	34	34	34	34	34	38

1系-3

項目	水温	pH	MLDO	SV30	MLSS	SVI	MLVSS	有機分	Rr	Kr
	℃									
4月	19.8	6.3	3.3	41	2,040	200	1,700	83	11.3	5.6
5月	21.6	6.3	3.4	46	2,010	230	1,660	82	11.0	5.3
6月	23.4	6.4	4.6	37	1,680	220	1,360	81	9.6	5.7
7月	25.3	6.4	3.7	32	1,630	200	1,330	82	10.8	6.6
8月	27.0	6.4	3.6	22	1,500	150	1,230	82	11.1	7.4
9月	27.5	6.4	3.3	18	1,420	120	1,170	82	11.3	7.9
10月	25.5	6.4	4.1	20	1,580	120	1,290	82	11.8	7.5
11月	23.1	6.4	3.5	24	1,740	140	1,430	82	10.9	6.2
12月	21.3	6.4	3.2	31	1,860	160	1,530	82	10.6	5.7
1月	19.0	6.4	3.5	49	2,030	240	1,660	82	11.1	5.5
2月	18.5	6.4	3.1	28	2,030	140	1,660	82	11.1	5.5
3月	18.9	6.3	3.2	21	2,040	100	1,660	81	11.9	5.8
最高	28.0	6.6	5.0	56	2260	270	1880	84	14.0	9.0
最低	18.1	6.2	1.2	15	1340	94	1100	80	8.9	4.7
平均	22.6	6.4	3.5	31	1800	170	1470	82	11.0	6.2
測定回数	242	242	102	242	102	102	102	102	102	102

1系-4

項目	水温	pH	MLDO	SV30	MLSS	SVI	MLVSS	有機分	Rr	Kr
	°C									
4月	19.8	6.4	2.6	39	2,060	200	1,710	83	11.3	5.5
5月	21.6	6.4	3.4	44	2,020	230	1,660	82	11.0	5.3
6月	23.4	6.4	3.5	39	1,760	220	1,440	81	9.8	5.6
7月	25.3	6.4	2.4	35	1,690	210	1,370	81	11.1	6.6
8月	27.0	6.4	2.0	23	1,550	140	1,280	83	11.8	7.5
9月	27.5	6.5	2.0	18	1,410	130	1,160	82	11.0	7.8
10月	25.5	6.4	3.0	20	1,600	120	1,310	82	11.8	7.4
11月	23.1	6.4	2.4	26	1,780	140	1,450	82	10.6	6.0
12月	21.3	6.4	2.7	29	1,800	160	1,480	82	10.3	5.7
1月	19.0	6.4	3.2	45	1,980	220	1,620	82	10.8	5.5
2月	18.5	6.4	2.8	25	1,960	120	1,600	81	10.7	5.5
3月	18.9	6.3	3.0	21	1,990	110	1,620	81	11.4	5.7
最高	28.0	6.6	4.3	51	2190	260	1820	84	13.0	8.3
最低	18.2	6.3	1.3	15	1350	96	1110	80	8.4	4.3
平均	22.6	6.4	2.7	30	1800	170	1480	82	11.0	6.2
測定回数	242	242	101	242	99	99	95	99	99	99

2系-1

項目	水温	pH	MLDO	SV30	MLSS	SVI	MLVSS	有機分	Rr	Kr
	°C									
4月										
5月	21.6	6.4	4.4	14	1,700	85	1,390	82	10.0	6.0
6月	23.3	6.4	2.9	17	1,730	98	1,440	83	10.8	6.2
7月	25.2	6.3	1.5	25	1,660	150	1,380	82	11.1	6.7
8月	26.9	6.4	1.7	25	1,480	160	1,220	82	9.6	6.5
9月	27.4	6.4	1.3	26	1,600	160	1,310	82	10.5	6.6
10月	25.4	6.4	1.4	23	1,500	140	1,210	81	9.9	6.6
11月	23.0	6.4	1.3	26	1,640	160	1,330	81	9.9	6.0
12月	21.2	6.4	1.4	28	1,770	160	1,430	82	9.8	5.6
1月	18.9	6.4	1.5	53	2,080	170	1,710	82	10.7	5.2
2月	18.4	6.3	1.7	33	1,940	170	1,600	83	10.1	5.2
3月	18.8	6.3	1.8	33	1,990	170	1,620	81	10.0	5.3
最高	27.9	6.6	5.0	63	2110	300	1730	83	12.0	7.5
最低	18.1	6.2	1.0	11	1300	83	1040	80	8.8	4.4
平均	22.7	6.4	1.9	27	1740	150	1420	82	10.2	6.0
測定回数	214	214	90	214	88	86	82	86	86	86

ウ. 返送汚泥試験  
1系-1

項目	水温	pH	SV30	RSSS	SVI	RSVSS	有機分
	°C						
4月	19.9	6.4	72	7,510	98	6,130	82
5月	21.5	6.4	75	6,400	120	5,080	80
6月	23.4	6.5	83	9,640	100	8,010	79
7月	25.4	6.4	70	9,640	100	8,010	80
8月	27.1	6.5	71	9,640	100	8,010	81
9月	27.4	6.5	69	9,640	100	8,010	81
10月	25.3	6.5	59	9,640	100	8,010	80
11月	22.7	6.5	71	9,640	100	8,010	81
12月	21.1	6.5	77	9,640	100	8,010	82
1月	18.0	6.5	95	9,640	100	8,010	82
2月	17.9	6.4	100	9,640	100	8,010	82
3月	18.4	6.4	98	8,740	110	7,570	83
最高	28.0	6.6	100	11,200	170	9,170	83
最低	16.8	6.3	18	2,270	77	1,860	78
平均	22.3	6.4	78	9,120	100	7,570	81
測定回数	48	48	48	48	48	48	48

1系-3

項目	水温	pH	SV30	RSSS	SVI	RSVSS	有機分
	°C						
4月	19.9	6.4	100	9,910	101	8,213	83
5月	21.5	6.4	75	6,400	120	5,080	80
6月	23.4	6.5	83	9,640	100	8,010	79
7月	25.4	6.4	70	9,640	100	8,010	80
8月	27.1	6.5	71	9,640	100	8,010	81
9月	27.4	6.5	69	9,640	100	8,010	81
10月	25.3	6.5	59	9,640	100	8,010	80
11月	22.7	6.5	71	9,640	100	8,010	81
12月	21.1	6.5	77	9,640	100	8,010	82
1月	18.0	6.5	95	9,640	100	8,010	82
2月	17.9	6.4	100	9,640	100	8,010	82
3月	18.4	6.4	98	8,740	110	7,570	83
最高	28.0	6.5	100	12,000	260	9,760	84
最低	16.0	6.3	20	1,410	83	1,180	81
平均	22.6	6.4	85	9,480	170	7,830	82
測定回数	44	44	44	44	44	44	44

2系-1

項目	水温	pH	SV30	RSSS	SVI	RSVSS	有機分
	°C						
4月							
5月	21.3	6.4	36	3,180	100	2,600	82
6月	23.2	6.4	79	10,300	154	8,510	82
7月	25.2	6.4	91	10,300	185	8,510	82
8月	27.0	6.4	75	10,300	238	8,510	82
9月	27.4	6.4	89	10,300	196	8,510	81
10月	25.4	6.4	87	10,300	215	8,510	81
11月	22.8	6.4	95	10,300	188	8,510	82
12月	21.1	6.4	91	10,300	200	8,510	82
1月	18.5	6.4	100	10,300	100	8,510	82
2月	17.9	6.4	100	10,300	111	8,510	82
3月	18.5	6.4	97	8,430	130	6,880	82
最高	27.9	6.6	100	10,600	290	8,770	83
最低	17.6	6.3	16	2,010	80	1,650	80
平均	22.6	6.4	85	9,480	170	7,830	82
測定回数	44	44	44	44	44	44	44

- 1 数値は各月の平均値である。
- 2 「最高」「最低」は年間の最高値最低値である。
- 3 「平均」は月平均値の平均値である。

工. 脱水汚泥試験

(ア)含有量試験

項目 月	全窒素	全りん	含水率	強熱減量	発熱量
単位	mg/g-乾	mg/g-乾	%	%	J/g
5月	52	20	73.7	84.4	16,000
8月	55	22	73.7	83.6	16,000
11月	61	21	73.1	85.3	18,000
2月	54	20	74.9	85.2	19,000
最 高	61	22	74.9	85.3	19,000
最 低	52	20	73.1	83.6	16,000
平 均	56	21	73.9	84.6	17,000
測定回数	4	4	4	4	4

備考

1. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。



## (イ)溶出試験

項目 月	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	有機りん	六価 クロム	ひ素	全シアン	ポリ塩化 ビフェニル	トリクロ エチレン	テトラクロ エチレン
単位	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
5月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
8月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
11月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
2月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
最 高	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
最 低	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
平 均	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
測定回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

項目 月	ジクロロメタン	四塩化 炭素	1,2- ジクロロエタン	1,1- ジクロロエチレン	シス-1,2- ジクロロエチレン	1,1,1- トリクロロエタン	1,1,2- トリクロロエタン	1,3-ジクロロ プロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ <sup>1)</sup>
単位	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
5月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
8月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
11月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
2月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
最 高	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
最 低	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
平 均	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
測定回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

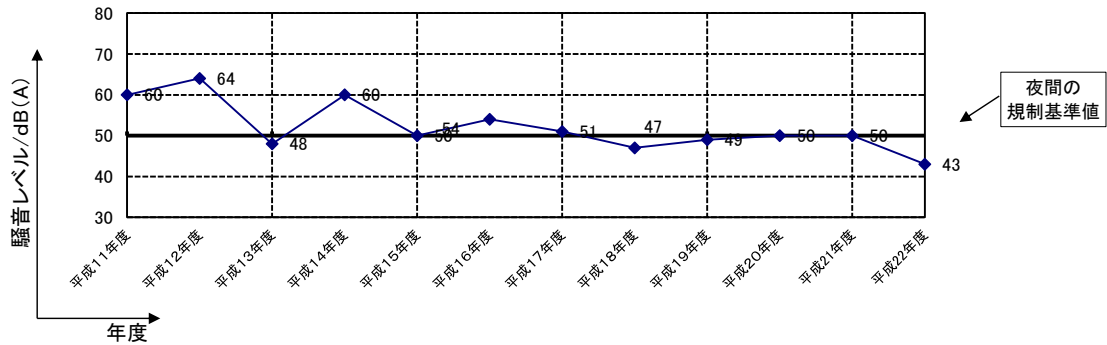
項目 月	ベンゼン	セレン	ふっ素	ほう素	銅	亜鉛
単位	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
5月	<0.01	<0.01	<0.5	<1	<0.1	0.3
8月	<0.01	<0.01	0.5	<1	<0.1	<0.1
11月	<0.01	<0.01	<0.5	<1	<0.1	<0.1
2月	<0.01	<0.01	<0.5	<1	0.1	0.1
最 高	<0.01	<0.01	0.5	<1	0.1	0.3
最 低	<0.01	<0.01	<0.5	<1	<0.1	<0.1
平 均	<0.01	<0.01	<0.5	<1	<0.1	<0.1
測定回数	4	4	4	4	4	4

備考

1. &lt;0.0Xは報告下限値未満であることを示す。

(12) 周辺環境調査(松阪浄化センター)

ア 騒音調査 (夜間)



(備考)

- 各年度における最高値(◆)を表示。  
(3地点×3区分×4回/年分)
- 三重県生活環境の保全に関する条例の「その他の地域」に該当するため夜間規制基準の50dBを基準線として表示した。
- 最高値は、春から夏の時期の虫等の鳴き声による影響が大きい。

イ 悪臭調査

(ア) 臭覚測定

項目	年度											
	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
臭気指数	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	15
臭気濃度	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	30
臭気強度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(備考)

- 各年度における最高値を表示(7地点×4回/年)。
- 平成22年度については、草の臭いの影響による臭気が臭気指数及び臭気濃度として表れている。

(イ) 機器試験

(単位:ppm)

項目	年度											
	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
アンモニア	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05
メチルメルカプタン	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
硫化水素	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
硫化メチル	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
二硫化メチル	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001

(備考)

- 各年度における最高値を表示(7地点×4回/年)。
- 他に放流水中の悪臭4物質試験も実施しているがすべて報告下限値未満であった。

ウ 水質調査  
生活環境項目

(単位:表示の無いものはmg/l)

項目	年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
透明度 (m)		1.5	1.4	1.4	1.5	0.5	0.5	2.3	1.5	3.8	1.8	0.9	0.5
pH (-)		8.2~8.6	8.1~8.6	7.9~8.2	8.0~8.3	8.0~8.4	7.5~8.3	8.0~8.3	8.0~8.2	8.0~8.3	7.9~8.5	7.8~8.4	7.6~8.7
溶存酸素		7.2~9.9	7.0~11	6.8~10	6.9~11	6.0~12	6.7~9.4	5.4~10	7.1~10	7.6~9.4	6.9~9.8	6.3~10	6.0~12
COD		3.9	6.0	8.6	4.5	4.2	4.5	4.2	3.3	3.6	4.6	4.0	3.6
全窒素		0.47	0.79	0.56	0.49	0.83	0.82	0.53	0.95	0.71	1.1	1.2	1.0
全りん		0.035	0.092	0.15	0.070	0.074	0.098	0.073	0.062	0.056	0.071	0.17	0.14
n-ヘキサン抽出物質		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
塩化物イオン		18,000	16,000	18,000	21,000	18,000	21,000	17,000	18,000	18,000	19,000	18,000	18,000
陰イオン界面活性剤		< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05
大腸菌群数(MPN/100m)		110	23	49	46	350	5,400	1,100	170	240	170	3,500	16,000

(備考)

1. 放流口最寄地点における各年度の最高値。  
(6地点×6回/年但し、透明度は最低値、pH、溶存酸素は範囲を表示)
2. 「N.D.」とは「検出せず」のこと。
3. 他に健康項目26項目の調査を実施している。
4. 津・松阪地先海域はB類型に、全窒素・全りんについては、伊勢湾(二)としてII類型にあてはめられている。

エ 底質調査  
乾泥あたり含有量

(単位:表示の無いものはmg/kg)

項目	年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
C O D (mg/g)		14	24	27	9	9	15	19	7	40	26	24	34
n-ヘキサン抽出物質		480	2,100	1,100	<50	<50	<50	220	400	1,300	1,600	690	1,100
カドミウム		0.1	<0.1	<0.1	0.2	0.2	0.1	<0.1	<0.1	0.1	0.3	0.1	<0.1
全シアン		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
鉛		14	18	17	23	25	23	27	14	21	27	24	15
六価クロム		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
砒素		1.9	3.7	3	10	17	9.2	11	8.9	9	3.6	9.5	8.9
総水銀		0.50	0.69	0.80	0.77	0.67	0.70	0.80	0.60	0.62	0.64	0.75	0.45
アルキル水銀		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ポリ塩化ビフェニル		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
全窒素 (mg/g)		1.5	1.7	1.5	1.4	0.2	1.7	0.1	1.4	1.9	0.3	1.6	1.9
全りん (mg/g)		0.40	0.74	0.72	0.57	0.60	0.40	0.30	0.80	0.70	0.20	0.70	1.0
硫化物 (mg/g)		0.69	0.80	0.88	3.16	0.26	0.55	0.36	0.07	0.64	1.09	0.46	0.39
含水率 (%)		37.3	51.8	45.9	39.1	39.3	42.8	50.0	39.2	44.9	52.2	41.6	47.9
強熱減量 (%)		8.6	9.0	8.1	16.8	9.7	8.5	8.7	7.3	9.8	8.7	9.1	11.1

(備考)

1. 放流口最寄地点における調査結果 (1地点×1回/年)
2. 他に溶出試験5項目を実施しているが、すべて報告下限値未満であった。